

屋久島町町民アンケート調査結果

（１）調査概要

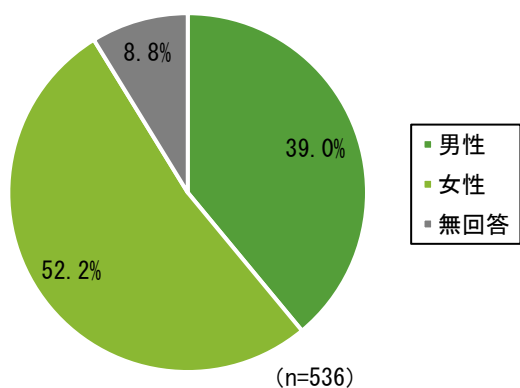
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	令和 6 年 9 月 27 日（金）～令和 6 年 10 月 14 日（月）
対象	屋久島町内にお住まいの 15 歳以上の町民 2,000 名（無作為抽出）
回答数	536（回収率 26.8%）

（２）調査結果

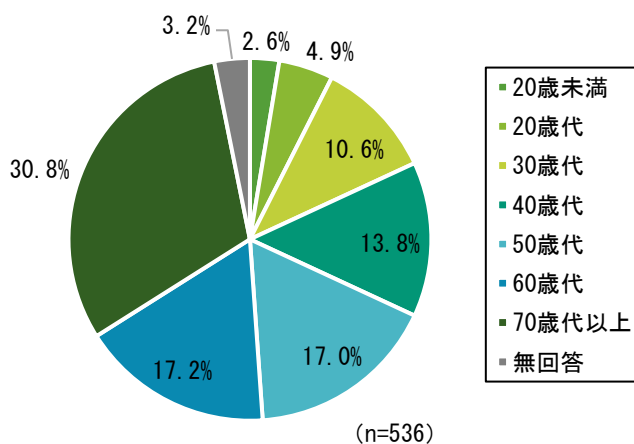
回答者の属性

- ・性別は「男性」が 39.0%、「女性」が 52.21%となっている。
- ・年齢は「70 歳代以上」30.8%、「60 歳代」17.2%、「50 歳代」17.0%の順に多い。
- ・職業は「会社員・会社役員」18.8%、「パート・アルバイト」16.4%、「自営業」13.4%の順に多い。
- ・居住地は「宮浦校区」27.1%、「安房校区」21.1%、「神山校区」12.5%の順に多い。
- ・出身者・移住者は「屋久島町出身」が 35.6%、「U ターン」が 18.5%、「I ターン」が 36.4%となっている。
- ・移住者（U ターン・I ターン）の居住年数は、「20 年以上」39.8%、「10 年～19 年」19.0%、「1 年～4 年」15.3%の順に多い。

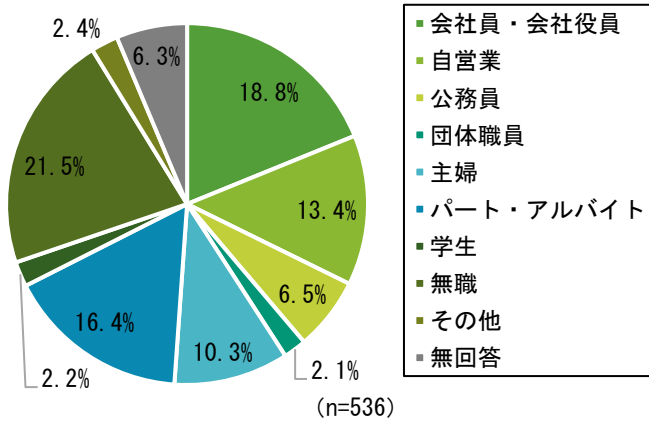
≪性別≫



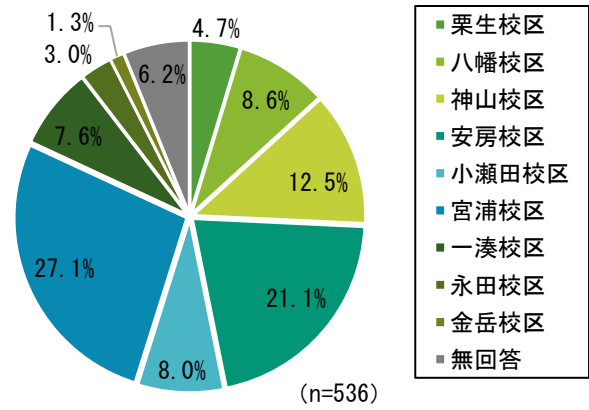
≪年齢≫



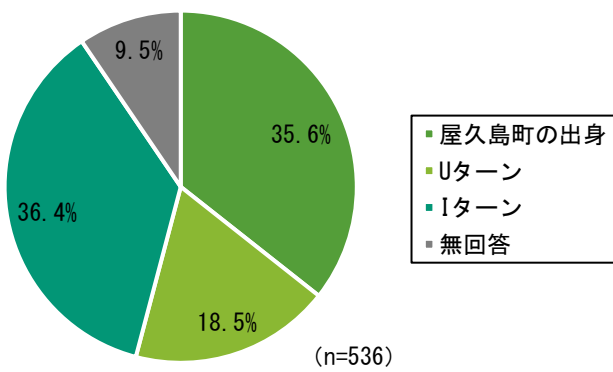
《職業》



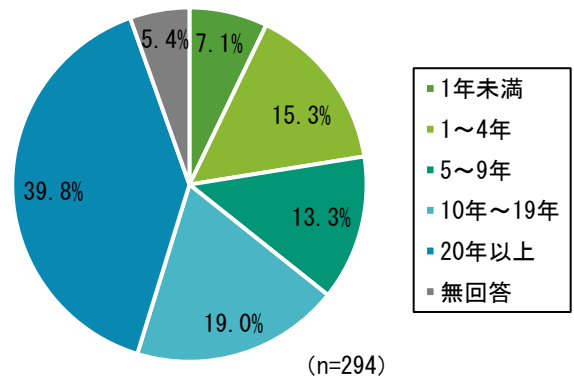
《居住地（校区）》



《屋久島町の出身者・移住者》



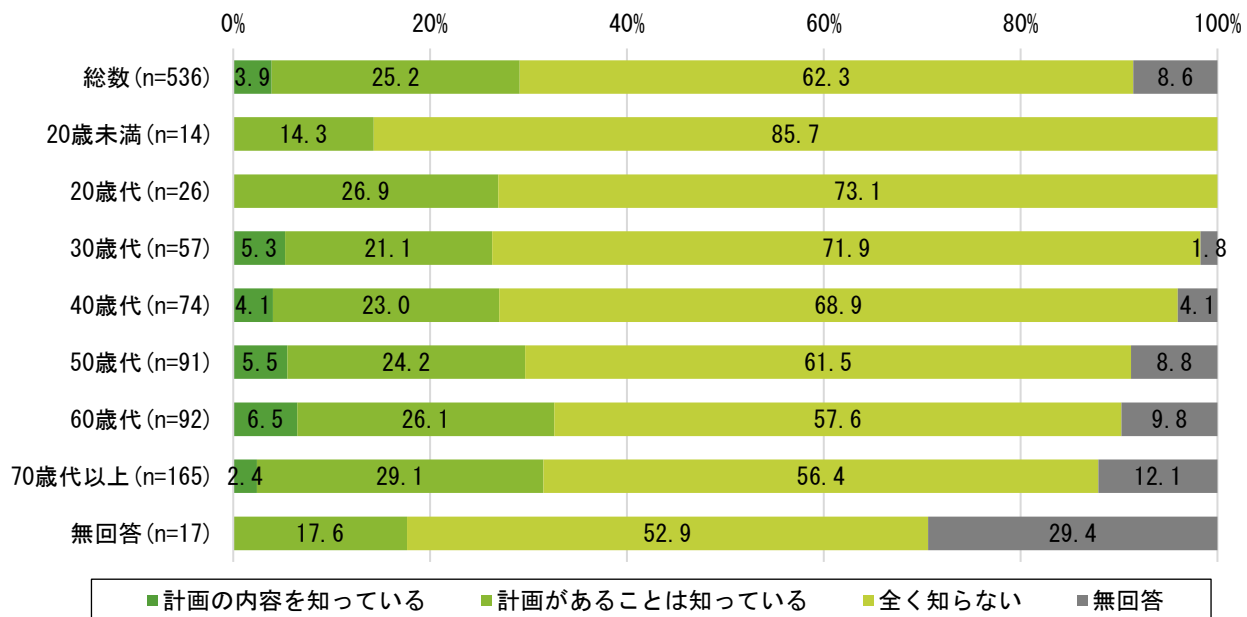
《移住者の年数》



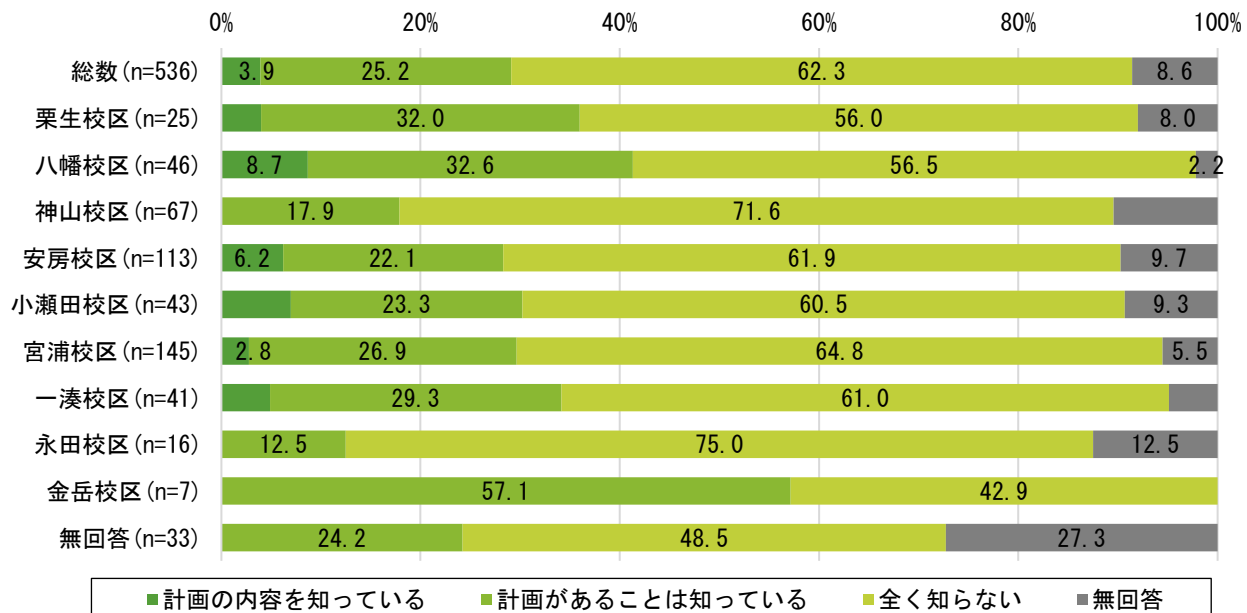
観光基本計画の認知度

- ・全体の観光基本計画の認知度は、「全く知らない」が62.3%、「計画があることは知っている」が25.2%、「計画の内容を知っている」が3.9%となっている。
- ・年齢別では、若い世代になるほど「全く知らない」と回答した割合が高い。
- ・校区別では、神山校区と永田校区での認知度が低く、7割以上が「全く知らない」と回答している。

＜年齢別＞



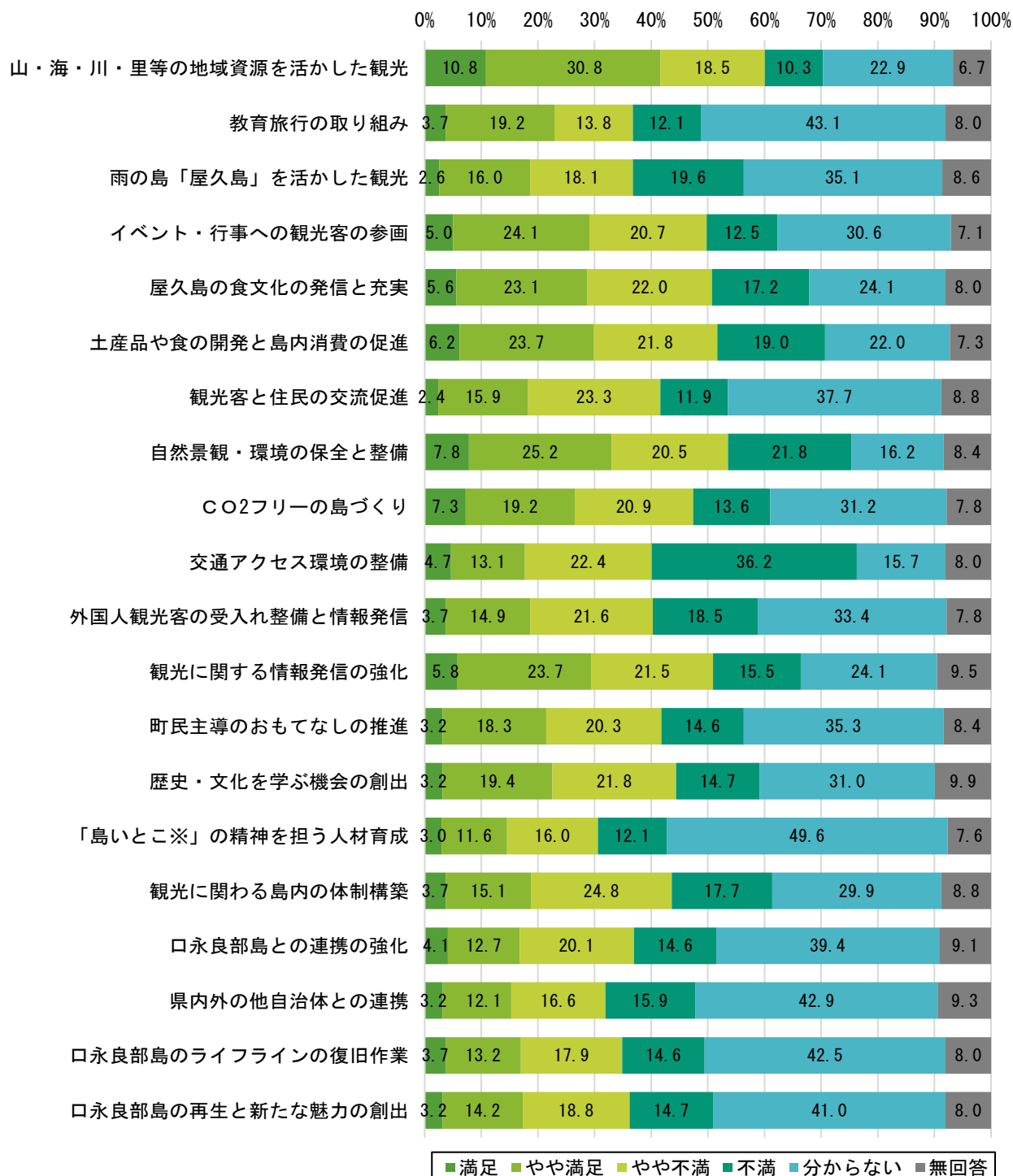
＜校区別＞



観光基本計画の満足度と重要度

《満足度》

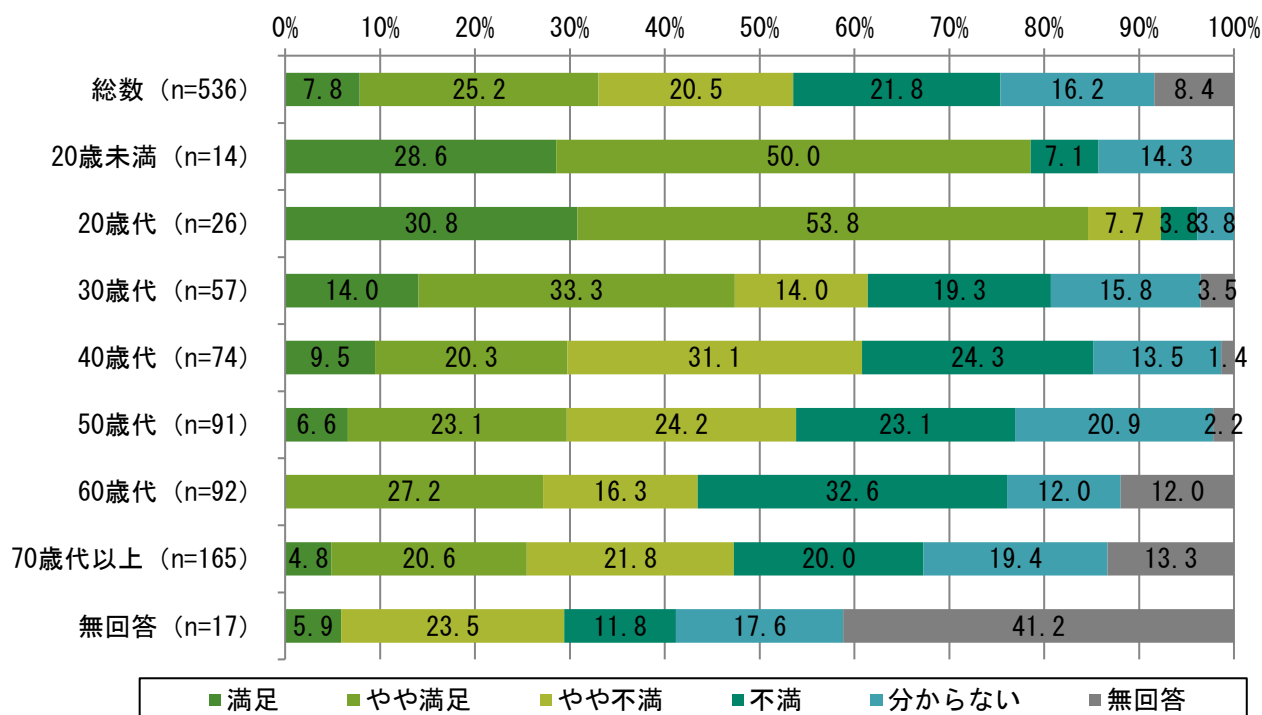
- ・満足度（満足＋やや満足）は、「山・海・川・里等の地域資源を活かした観光」が41.6%と最も高く、次いで「自然景観・環境の保全と整備」が33.0%、「土産品や食の開発と島内消費の促進」が29.9%となっている。
- ・不満足（やや不満＋不満）は、「交通アクセス環境の整備」が58.6%と最も高く、次いで「観光に関わる島内の体制構築」が42.5%、「自然景観・環境の保全と整備」が42.4%、「土産品や食の開発と島内消費の促進」が40.9%となっている。



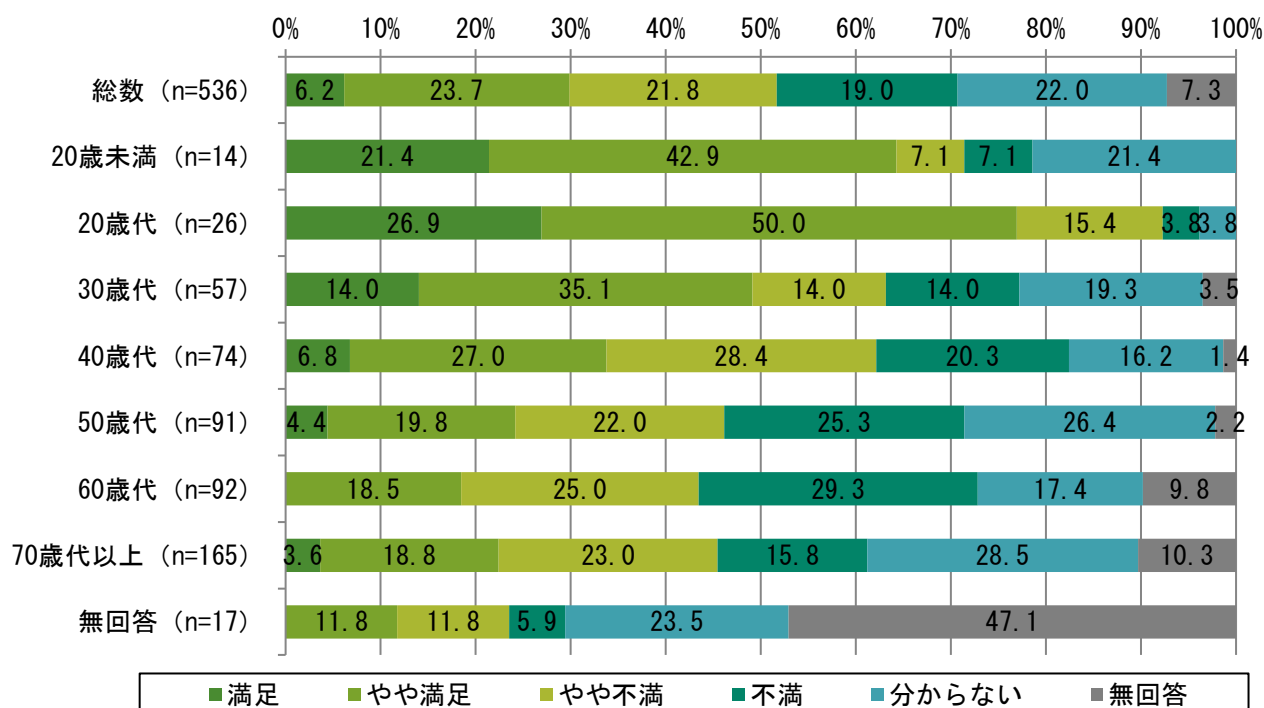
※島いとこ…島回りの慣習があった頃、別の集落に泊まってお世話になった人と身内以上の付き合いをすることを意味する。
計画内では、「島いとこ」を助け合いの精神として捉える。

・「自然景観・環境の保全と整備」と「土産品や食の開発と島内消費の促進」については、満足度、不満
 足度がともに高く、回答者によって意見が分かれている。それぞれの項目について年齢別に見ると、
 若い世代ほど満足度が高く、年齢層が高いほど満足度が低い傾向となっている。

《満足度_自然景観・環境の保全と整備》

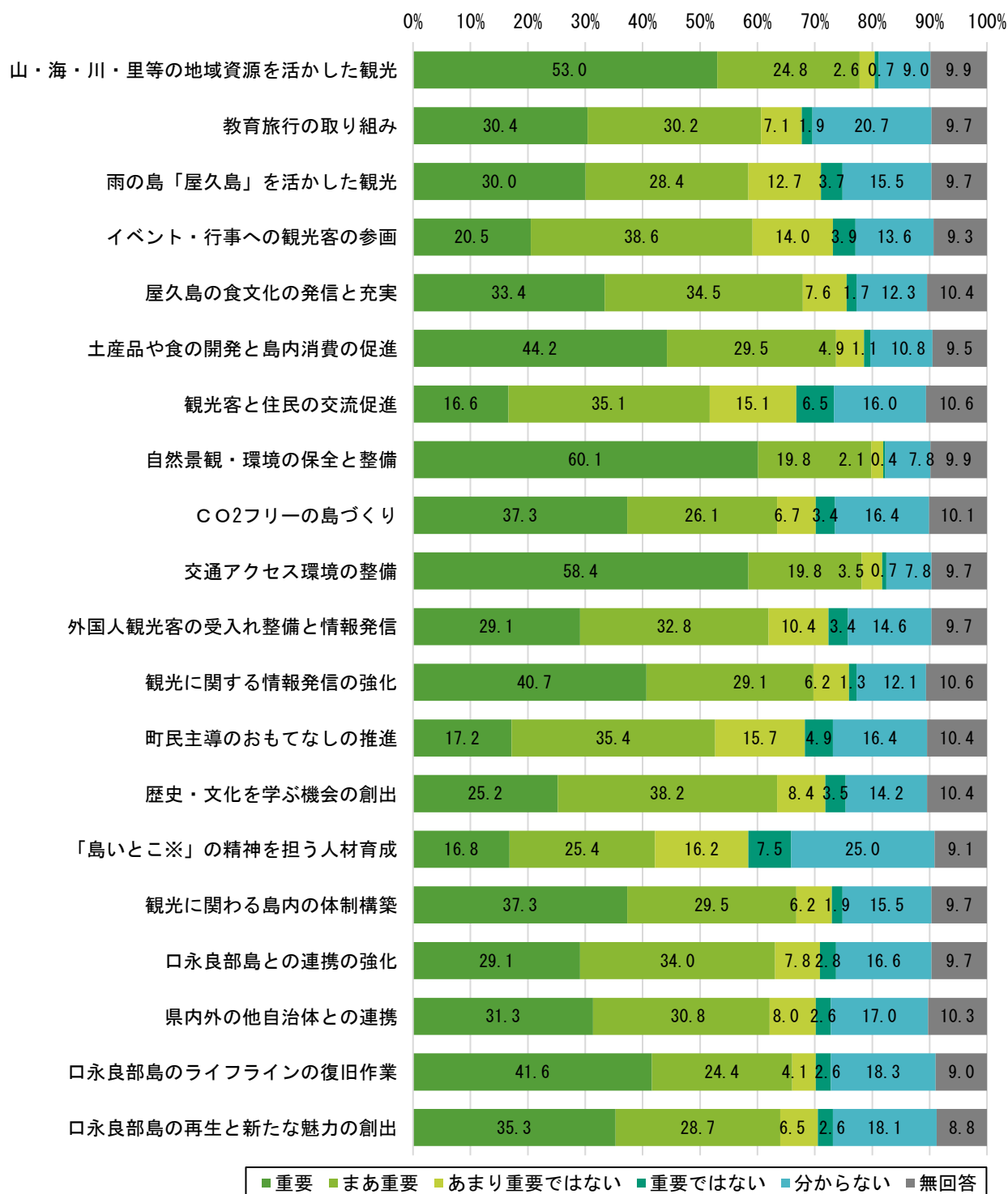


《満足度_土産品や食の開発と島内消費の促進》



《重要度》

- ・重要度（重要＋まあ重要）は、「「島いところ」の精神を担う人材育成」以外の全ての項目で5割を超えている。特に、満足度が高い「自然景観・環境の保全と整備」は79.9%と最も高く取組みを維持していく必要があると考えられる。
- ・また、満足度が低い「交通アクセス環境の整備」、「山・海・川・里等の地域資源を活かした観光」、「土産品や食の開発と島内消費の促進」についても、重要度（重要＋まあ重要）がそれぞれ7割を超えており、取組の促進が必要であると考えられる。

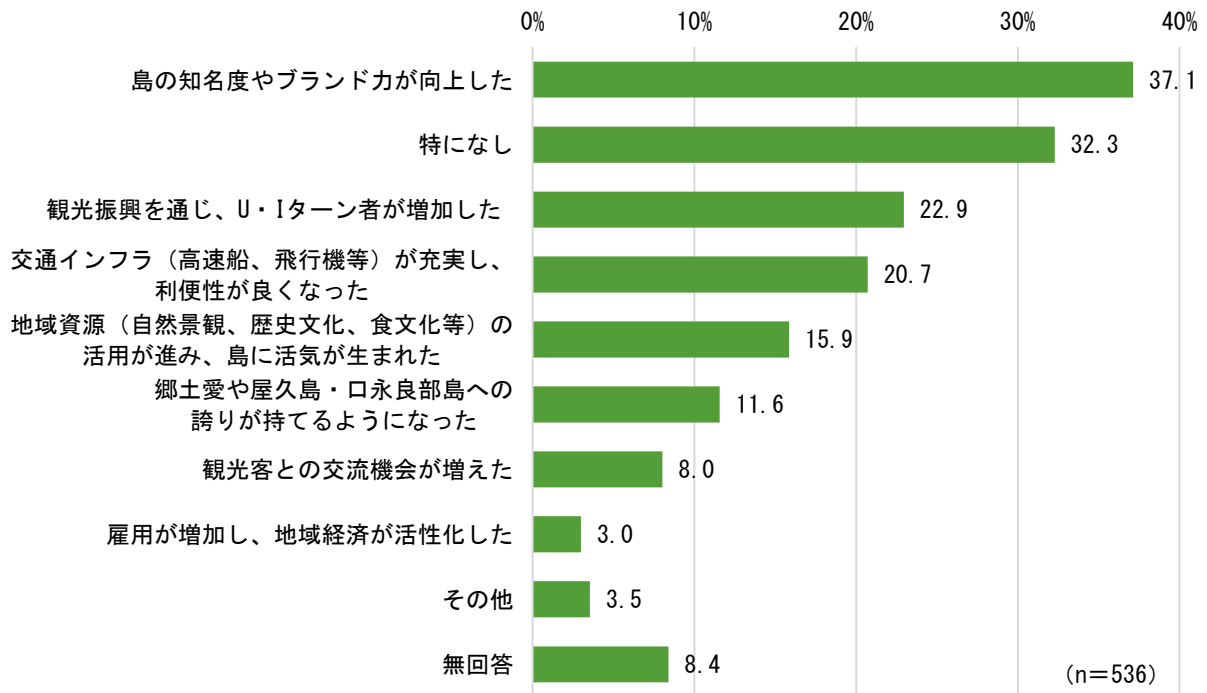


※島いところ…島回りの慣習があった頃、別の集落に泊まってお世話になった人と身内以上の付き合いをすることを意味する。
計画内では、「島いところ」を助け合いの精神として捉える。

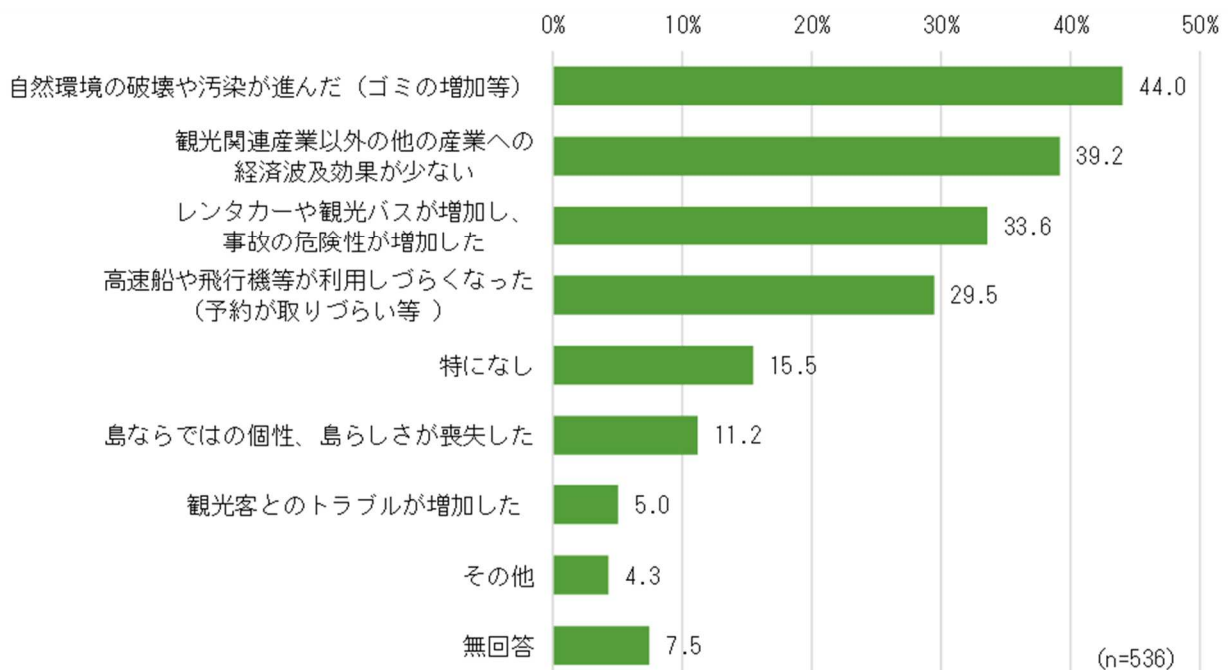
観光振興による地域への影響

- ・ 好影響としては、「島の知名度やブランド力が向上した」が 37.1%と最も多く、次いで「特になし」が 32.3%、「観光振興を通じ、U・I ターン者が増加した」が 22.9%となっている。
- ・ 悪影響としては、「自然環境の破壊や汚染が進んだ（ゴミの増加等）」が 44.0%（H26:69.3%）と最も多く、次いで「観光関連産業以外の他の産業への経済波及効果が少ない」が 39.2%（H26:62.7%）、「レンタカーや観光バスが増加し、事故の危険性が増加した」が 33.6%（H26:48.4%）となっている。平成 26 年の町民アンケートと同様の項目が上位に挙げられているが、割合は下がっている。

《好影響》



《悪影響》



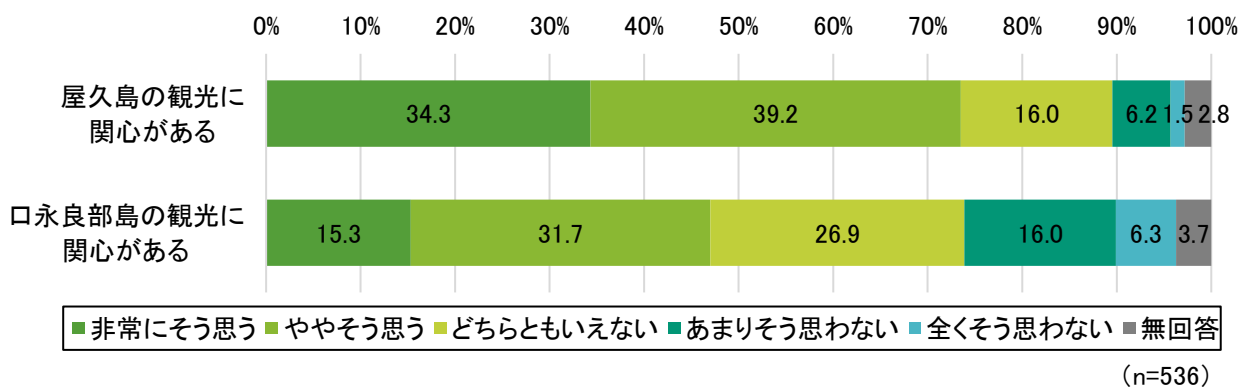
《その他》

- ・地域おこし協力隊や、山海留学の人たちのおかげで、地域が活性化していると感じる。
- ・外国人観光客が増えた。
- ・土産 80 が増えた。
- ・マスコミ（テレビ等）へ取上げられる事が増加した。
- ・W i - F i のあるコインランドリーができた。
- ・住民に地域を考えることが増えた。
- ・計画に関わらず良い方向である。
- ・交通インフラは便利になりつつあるが、交通費が高額すぎる。
- ・雇用は増加したが、人手不足が深刻化し、かえって地域経済が沈滞している。
- ・年々、島の人口が減っている。人口減少で人手不足がひどくなっている。新しいブランド開発が少ない、もっと力を入れるべき。屋久島は一次産業が衰退していくので観光促進を活発に取組み新しい観光資源を開拓し続ける事が重要です。
- ・春田浜、横河溪谷など、全裸で泳ぐ観光客を見かける。子どもを連れていくこともあるので、怖いと感じている。
- ・山登りのマナーの悪化など、マナーが悪い人が増えた。
- ・白谷雲水峡などで外国人観光客への登山マナーの情報が行き届いていない。
- ・ゴミ収集所に勝手にゴミを捨てる人、また道端に平気でゴミを捨てる外国人観光客がとても多い。
- ・Ｉターン者の増加は迷惑（いずれ島を支配されるのでは）。
- ・言葉が伝わらないので迷惑。
- ・自分自身ではないが、中国や韓国などの民度の悪い国の奴らが花壇の花を荒らしたり、立ち入り禁止の場所に入ったり、それを注意すると火病ったりする。また、道路の真ん中に駐車して写真を撮る観光客が増えたと思う。写真を撮るのはいいが、車の通行を阻害してまでするのは如何なものかとおもう。
- ・危険運転が多い。
- ・レンタルサイクルによる交通リスクの増加。
- ・交通事故が多い、ゴミ捨てが多い。
- ・外国人観光客への対応が充分でない。
- ・地域住民に高齢化が進んでいるので、観光で来ている人への対応についていけない部分も増えている。カード、スマホ言語など。
- ・変な人が来て警察沙汰になる。
- ・何で生計をたてているのかわからない人が増えた。
- ・そもそも利便性がいろいろな部分で屋久島にはない。地元住民への忖度しか考えてないので、取り組んでいないのでは？交通、食事場所、宿の快適性等、また、観光客が行きたい店や宿は限られている。なぜ、人気のある店が人気なのか、町民が学ぶ姿勢が一番大切。
- ・マナーが悪い、冬のバス便（朝）安房行きがないので交通手段がない。
- ・移住したばかりで分かりません。
- ・Ｉターンなので今までの施策が行われてきたのかわかりません。
- ・観光基本計画（平成 28 年分）詳細を知らない。計画策定「やっています。やりました。」のアリバイ作りの感あり。
- ・計画が良く分からない。

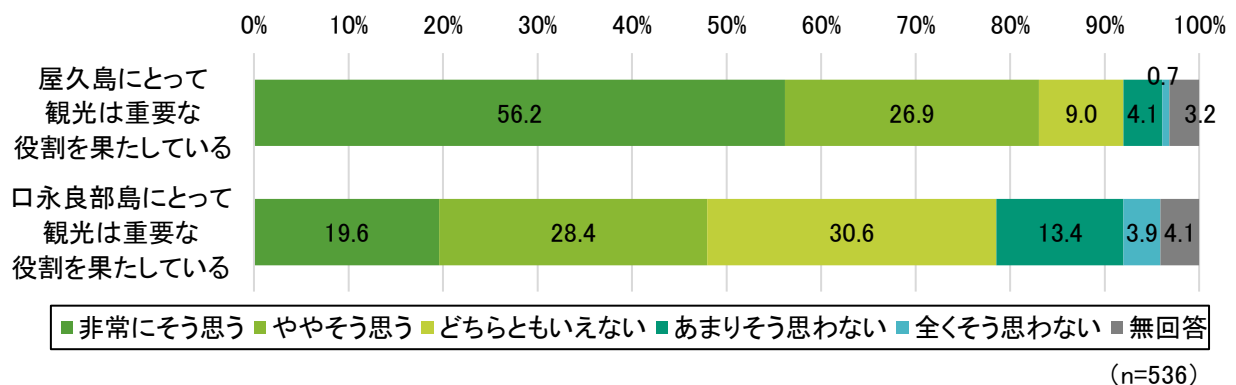
屋久島・口永良部島観光への関心度について

- ・全ての項目において口永良部島と比較して屋久島の観光に対する関心度が高い。特に「観光への関心」、「観光の重要性」では、そう思う（非常にそう思う＋ややそう思う）と回答した割合に 30% 程度の乖離があることが分かる。
- ・平成 26 年の町民アンケートと比較すると、「観光への関心」は屋久島 73.5%（H26:80.4%）、口永良部島 47.0%（H26:59.1%）、「観光の重要性」は屋久島 83.1%（H26:89.3%）、口永良部島 48.0%（H26:53.8%）、「観光への関わり」は屋久島 37.0%（H26:45.8%）、口永良部島 22.9%（H26:28.0%）と全ての項目で下がっている。

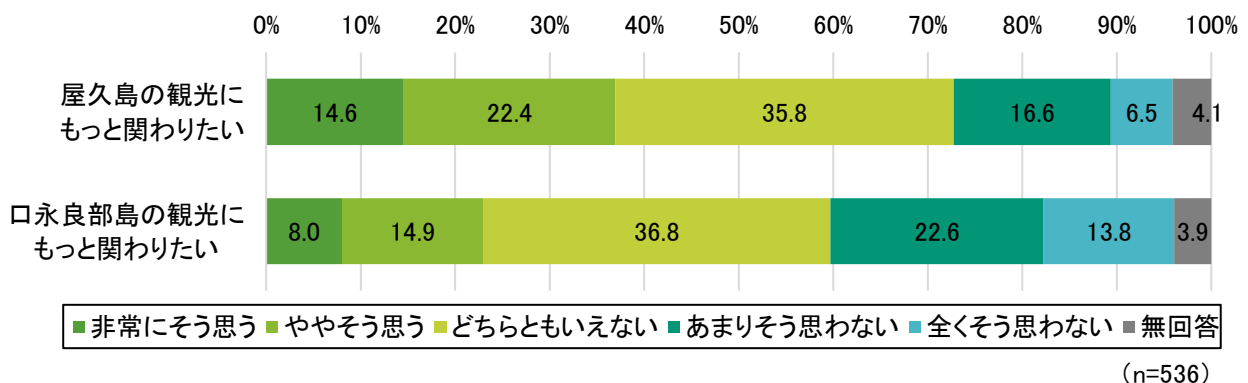
＜＜観光への関心＞＞



＜＜観光の重要性＞＞

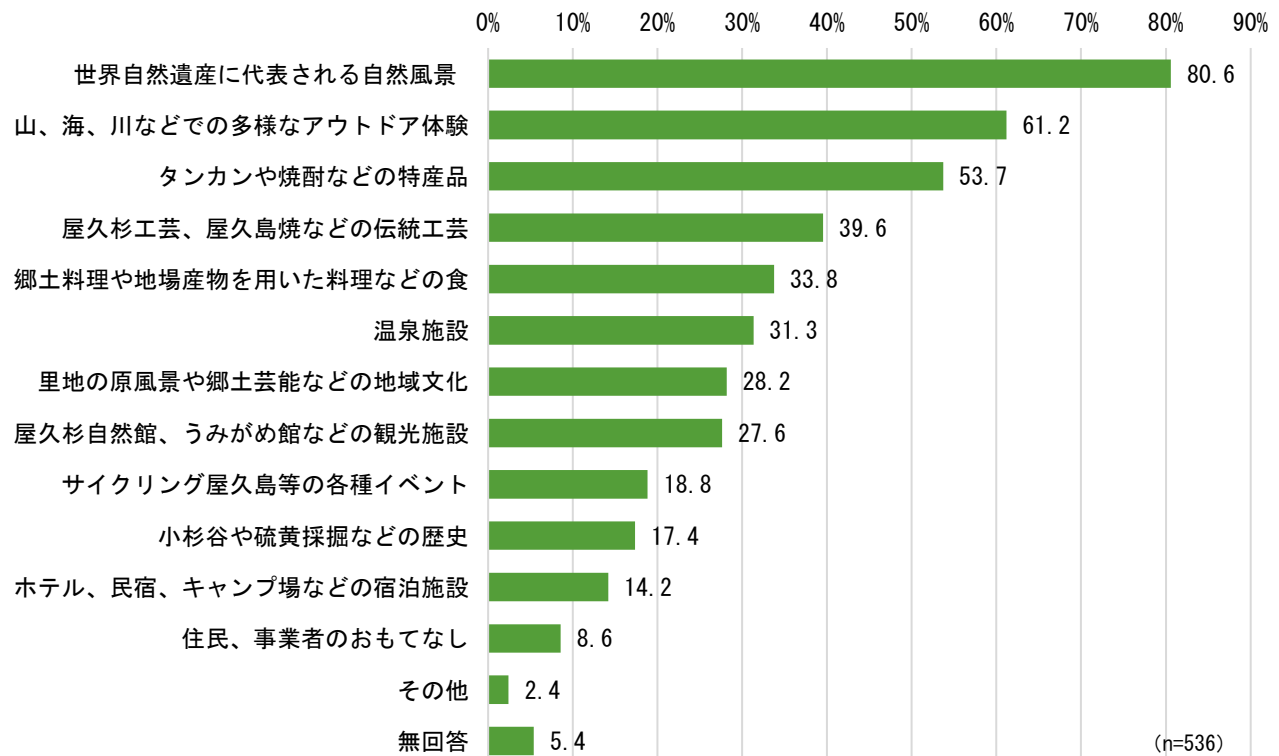


＜＜観光へ関わり＞＞



観光客におすすめするもの

- ・観光客におすすめするものとして、「世界自然遺産に代表される自然風景」が 80.6%（H26:91.6%）と最も多く、次いで「山、海、川などでの多様なアウトドア体験」が 61.2%（H26:43.1%）、「タンカンや焼酎などの特産品」が 53.7%（H26:63.6%）となっている。
- ・平成 26 年の町民アンケートと同様の項目が上位に上がっているが、「自然風景」「特産品」は約 10% 下がっている。一方、アウトドア体験については 43.1%から 61.2%と 18.1%上がっている。



《その他》

- ・水の美味しさは世界クラスと思う。
- ・ジブリ映画とのシンクロ
- ・辻峠からの山々の眺望・吉田トンネルより口永良部島にしずむ夕陽
- ・屋久島灯台
- ・南の方にあるカフェ、かくれた小店に魅力を感じる。
- ・暮らしの中の楽しみ（竹の子とり、浜遊び、川遊び、魚とり、ハイキング、かからん団子作り等）
- ・有名ホテル会社やゴルフ場、その他のレジャー施設の誘致の力を入れてください。今のままでは観光客が増えた場合、対応できない。
- ・農林水産物の新しい掘り起し、加工品等。
- ・特にないですが、もう少し、景観を良くしてほしい。
- ・うみがめ館は、施設の手づくり感（お金をかけてなさ）があまりにもひどいと思う。「日本で1番」などとうたい、観光施設としてアピールする気があるのであれば、しっかり観光客目線で、立ち寄りやすい施設（清潔感のある施設にする、展示方法などにプロの手を入れる）に作り直す必要が必須。やっている事はよいのに、訪れてとても残念な気持ちになる。私が訪れた際は、同じタイミングで入った外国人グループが数分で退館していた。自然館とは雲泥の差があり、知って欲しいがおすすめしにくい。
- ・バスなどの交通の利用。トッピーをずっと待っていて、かわいそうで、先日港まで送ってあげました。バス停の時間が見えにくい。

自身の集落の中でおすすめできるもの

《施設・景観》

校区	集落	名称	理由
栗生	中間	海岸の夕日	・ 砂浜、浴岩 ・ ロ永良部島の横に夕陽が沈むのが最高です。
		ガジュマル 夕陽、ガジュマル、フルーツガーデン、昔ながらの伝統行事	・ 樹根をくぐり抜けができて、体感をできる。 ・ 観光客だけでなく住民も見に来ているのをよく見るから
	栗生	自然（山、海、川）	・ 絶景である
		大川の滝	・ 日本の滝百選の滝 ・ 南部地域の一番の目玉景観 ・ 絶景
		キャンプ場が海、栗生橋～川 栗生川、小谷が滝	・ 潮の干満による川の流れと奥岳及びアコウ、集落の街並みをながめ、川下り未開の地、歩道、駐車場の整備が必要
		栗生川～港 しゃくなげの森	・ 空、山、川、海、自然が一度に目に入るスポット。夕日も美しい。 ・ 期間は限定されてしまうが、満開の時はとてもきれいです。
八幡	小島	シドッティの碑（しかない）	・ 観光の方がグランド横の石碑を見つけて下って行くのをよく見るが何もないのが残念。神父もいない方が多いので、ガッカリポイントだと思う。何か碑以外でシドッティの足跡をたどれるような物があると観光できるのかなと思う。
		教会・海	
		神社 畑、山、海	・ 学問の神様を ・ 景観がきれい
	平内	平内海中温泉	・ 干潮の時だけ入れる特別感が良い ・ 1日に2回干潮時の前後2時間しか入れない自然の海を眺望できる温泉。 ・ すばらしい ・ 景観もよく大自然の中で海の中で他にはありませんね ・ 少なくとも恩恵を受けています ・ 圧倒的意外性とワクワク感 ・ 混み合うことなく、ゆっくり入湯できる
			・ 数日間だけの観光ではなく、長期滞在、リピーターが増えるのを助ける施設がある。温泉。
		七五岳の景観	・ 平内から見える姿と、中間から見える七五岳の姿の違い
		岳参り 大川の滝	・ 我国の山岳信仰。広く知ってもらうことが必要と考えます。 ・ 景観が素晴らしい

校 区	集 落	名 称	理 由
神 山	湯 泊	平内海中温泉 湯泊温泉	・温泉にひたっている目線の先に広がる水平線・東シナ海をひとり占め、その眺望は旅の癒しをもたらしてくれるにちがいない。
		湯泊温泉	・外国の人にも暑すぎず、丁度良い。
		温泉 スーパー林道	・めずらしいから ・浜に面しており、夜は星も見られる。 ・眺めが素晴らしい、平家の城をもっと使うと良いと思う。
	高 平	亀岩、海岸トンネル（高平の海岸にある）	・自然が送り出した、珍しい景観である。
		高平 3 から上がって来て道から見る高平岳	・私がいつもほっとする風景だから。
	麦 生	鯛ノ川の滝 3 件	・非日常的な壮大なパノラマ
		トロッキーの滝	・海に直接落ちる滝が珍しいから
		麦生港、トロッキーの滝 ぼんたん館	・釣り堀公園にしたらどうでしょう ・施設は立派ですが、外から見て暗い感じです。 ・島の農家が作る農産物が購入できるところです。島の農産物をいちばん入手しやすいところです。
	原	大山神社 神社	・苔が綺麗 ・集落に 3 ヲ所の神社があり、1 ヲ所よく観光される場所あり
	千 尋 の 滝	千尋の滝	・壮大 ・大きくて迫力があるから。 ・他にない風景だから ・見応えがありますが、現在遊歩道が閉まっているのが残念です。早急に対応を！！
		本富山 モッチョム岳とその裾野の風景	・幽谷 ・どこにもない切り立った岩の山 ・山の形、そして、山並みに連なるやまかげは裾野への広がりと共に、緑の数えきれない彩りとで、いつまでも目が離せない美しさです。
		尾の間温泉 けじべえの里	・独特な温泉 ・区民の営業管理
	尾 之 間	千尋の滝	・日本の滝百選になってもおかしくないすばらしい滝だと思う。入っていないのがおかしいと思うぐらい。すばらしいと言うしかない。一般的な島の山様をこえている。日本アルプスのようだ。
		滝 川、海	・迫力がある ・とてもきれい
		尾之間温泉	・雰囲気、泉質など、すべてすばらしい。あのままのレトロな感じを残してほしい ・泉質が良い ・区一番の目だま！

校区	集落	名称	理由
		温泉	・ 素朴なお湯のたたずまいがとても良い ・ 泉質が抜群によい。地域の住民同士の一体感を育む場となっている。
		文化の森 モッチョム岳	・ あんまり歩けない人でも、簡単に行けて森が楽しめる ・ カッコいいから
	永久保	茶畑	・ 高い山々の裾に広がる茶畑は屋久島ならではの風景
		特になし	・ すばらしい海の景観はあるが道路が整備されていないのでおすすめできない
	船行	船行神社	・ 島内では多分、唯一、大きな屋久杉が神社内に存在し、古い神社で御祭神が三柱であること。大人二人で手を回してもつなげない程の大杉もある ・ 鳥居をくぐると神殿が奥にあり、平地で一番大きいとされる屋久杉が何本もあります。タイムスリップしたかのような気分になります。
		神社、田んぼ	・ 神社は大杉。田んぼはいろいろな撮影などで使われていて眺めがいい。
		早崎のクリスタル岬、田代川の上流の川登り	・ 種子島や海峡が一望できるがアクセスに難あり。
	松峯	屋久杉自然館	・ 屋久島の発展や開拓してきたことが知れるから
		安房港からの山岳風景（赤灯台あたり）	・ 晴れた日の山岳風景が素晴らしい！！
		滝の川、安房川周辺など、沢遊びのスポット	・ 静かで、リラックスできる環境
		滝の川の1枚岩	・ 夏は水遊びをすることができ、地元の人、観光客からも人気である。健康の森公園からも近い。
		安房川	・ カヌーやSUPを楽しめ、夏はウミガメも発見できる。
		みやげ品店	・ 屋久島を代表するみやげ品店。屋久杉工芸品が屋久島で一番多い。
	安房	ダム川全般	・ 水がきれい
		リバーアクティビティ	・ カヌー、サップ、流れ船、体験型が人気。
		屋久杉自然館	・ 屋久島のほとんどの自然がここでわかること。 ・ 雨の日の観光できる場所
		屋久杉自然館、太忠岳	・ 雨天の時など、屋久島そのものを感じられるように体感、並びに歴史や知識を知ることができるので。
		環境文化村センター、屋久杉自然館、世界遺産センター	・ 屋久島の自然環境について分かりやすく展示されており、理解が深まる。学習してから山岳部に行くことで、更に自然への興味関心が高まる。
		滝の川の一枚岩	・ 静か。車もすぐ近くに止められて行きやすい。
		安房川や滝の川の一枚岩	・ 美しい自然が身近にあること
		安房川	・ カヌーや川のきれいさ
		安房川上流、松峰大橋、アコウの大木めぐり	・ 世界遺産で外の地域では見られない為

校 区	集 落	名 称	理 由
		松峯大橋からの安房川と溪谷	・ きれいな水と景観
		安房前岳	・ 1 時間程度で、安房の町を見渡せる
		多様な景観	・ 亜熱帯から亜寒帯までの植生景観
		春田浜海水浴場	・ 元旦に見に行った日の出がとてもきれいでした。
		武田館	・ いつも大変お世話になっている。
		ながし虫	・ 都会では見られない。きも怖で逆に見たい。
		モッチョム岳	・ トッピーとバスの時間の連携を考えて観光客を迎える様考えて欲しい
	春 牧	盛久神社、本坊酒店、春日浜、横 峯遺跡、一枚岩、ヘゴの群生地、 松峯大橋、春軍線からうりずん がまに登る道	
		益久神社	・ 平家の落人の史跡として歴史的にも意義ある神社。 今年 9 月、区民を中心とした募金活動により、新たに拝殿が完成している。
		ヤクスギランド	・ これしか観光資源がない
		安房川	・ 景観としても美しく見晴らしが良い。 ・ アクティビティの場としても良いスポットだから
		安房川カヤック、健康の森公園 でのヨガ	・ 開放的でストレスが抜ける
		滝之川の一枚岩 自然館	
		モッチョム 秘密の遊び場、海岸、川、山等	・ 景観がよい
	平 野	(株)三岳酒造	・ 有名な焼酎の製造工場
		焼酎工場	・ 焼酎の製造工程を見学させる事は、修学旅行の学習 や、観光客への地産業のアピールになる。
		クリスタル岬	・ 世界的にも珍しい場所。貴重なクリスタルが足元にある。
		川が多い	・ トンボが多い ・ 集落に観光の人が沢山来てほしいと思っていない。
小 瀬 田	小 瀬 田	屋久島空港、滑走路	・ 近距離で飛行機の離発着が見られる事。
		クリスタル岬	・ 景色がとてもいい！
		シドッチ、クリスタル岬	・ 素晴らしい風景だが、アクセスが悪い
		愛子橋、神社	・ 晴れている時の景色がいい、静かで落ち着ける
		愛子岳	・ 空港に降り立ってすぐに目に付く山
		ふれあいパーク	・ 海を見ながら、ゆっくりできる
	長 峰	クリスタル岬	・ 日本ではないような景色だから
		屋久島空港	・ 大きな「島の玄関」の 1 つ、海と滑走路と山の緑の コントラスト ・ 観光客のうち、外国人や大都市の人はよく利用するので、注目するから

校 区	集 落	名 称	理 由
		地力センター 庁舎 愛子岳	・循環を体感できる ・バスから見た時はあっという間に過ぎますが、歩いてみると他にはない景観だと思います。
宮 浦	宮 之 浦	白谷雲水峡	・頂上からの景観が素晴らしい ・豊かな自然の景観を満喫できる ・世界自然遺産の屋久島を味わえるから。 ・コケのすばらしさ ・ジブリ作品の舞台になったから ・映画もののけ姫でもしられる有名な観光名所 ・太鼓岩など、家族連れでも行きやすい。
		志戸子ガジュマル園、白谷雲水峡、屋久島灯台、西部林道	
		クリスタル岬	・もっとアピールすべき！
		宮之浦大橋	・宮ノ浦大橋から見る山や里の景色 ・橋の上から海側、山側、その季節の風景
		宮之浦川の橋と川沿い	・橋から見る川と山がとても美しい
		宮之浦橋からの風景	・山川海が見渡せる。古橋がもっと良かった。復旧希望。
		橋の上から海、川、街並み、山のパノラマ	・静かな環境の中に自分を置き感じる
		宮之浦川上流	・川が美しい。特に夏場の川遊びを進めたい。
		宮之浦川の白浜	・川遊びを出来るほどきれいな川は、国内で貴重
		白浜	・水がとてもキレイなため
		新之河（宮之浦）	・縄文杉の分身がいる。
		宮之浦港の松林、屋久島環境文化村センター、牛床の川、益救神社	・宮之浦港の松林は、癒される。道路上にあるので、いつでも行けるし、いつでもさわることができる。ずっと残っていてほしい。必ず松ぼっくりを持って帰る。
		屋久島環境文化村センター	・大きなスクリーンで、屋久島を見ることができ、屋久島について知れる。 ・屋久島について学べる。 ・大雨の時とか団体客で来たときにとってもいい施設だと思います。 ・雨でも屋久島を知ることができる
		環境文化村センター、屋久杉自然館	・雨の日でも、屋久島を学べる
		益救神社、文化村、白谷益救神社	・歴史ある神社で、気に入ってもらえることが多い ・伝統＆格式の高い神社なので
		牛床詣所	・集落中心地から比較的近い ・雰囲気が良い
		屋久杉自然館	・家族連れや1人でも幅広く楽しめると思うから。ただし、バスでは交通の便は悪い。

校 区	集 落	名 称	理 由
		一湊番屋峰	・軽いトレッキング・頂上での景色
		羽神ノ滝	・三国名勝図絵にも紹介されている。ルートを作り、滝ツボを元のようにすること
		総合公園	・川がとても美しい。大自然とつながれる。
		憩いの森、自然公園	・周りを深い森に囲まれていて、気持ちの良い場所。町民だけでなく、観光客がお弁当を食べたり、子供を遊ばせたりするのによい。両園とも、昔あった遊歩道を復活させ、きちんと管理していければもっとずっとよくなり、家族連れ、親子連れに優しい観光地としてもアピールしていけると思う。(憩いの森の遊歩道でのバードウォッチングに昔参加したことがあり、そのような使い方もできる。)外国人旅行者も、森歩きをするような人がいるように思う。(栗生の旅行村の荒れ果てた遊歩道で外国人旅行者に出会ったことがある)
		自然公園	・泳ぎやすく、景観も最高
		うみがめ館	・屋久島の様々な生き物を観察できるから
		コミュニティプラザやくしま館	・観光客と地元の方々がよく談笑している様子をみかける。
		唐船峡から見る山々	・四季折々の表情や天気によって違う景色を楽しめます。
		山、海、川	・とにかく山と海が近い。 ・それしかないから ・山、海、空が一緒に見えるのは良いと思う
		新港	・山、海が一緒にみえて楽しむことができます。
		十五夜の綱引きや 飛び魚漁、サバ節 縄文牛	・観光に来る方々の楽しみは屋久島の景観、文化体験など様々ですが旅といたら美味しい物を食べる、食べたい！！
		新港	・山、海が一緒にみえて楽しむことができます。
			・観光は大事だと思っていますが道路の整備はどうでしょうか、水部方面は素晴らしい海がみえます。でも雑草が道路近く困ることもあります。これはどうにかありませんか。
			・自然は元に戻せない。自然を大切にする姿が大きな資源になる。
	楠 川	楠川天満宮	・菅原道真を祀る神社（学問の神様）
		城ノ川から楠川天満宮までの海岸線	・天満宮から見る日出すばらしいです。 ・ロケットの打ち上げもよく見えます。 ・砂浜があり亀が上がってきます（7月頃）
		楠川ふれあいセンター「じょんこう」	・楠川の楠川住民とのふれあい、観光の拠点としておもてなしできる施設だから
		岳まいりのお迎え場所、正木の森 温泉、海・山の自然（川）	・海がみえのんびりできる所です。 ・縄文杉など登ってきたあとの温泉につかり、里からの海と山を見るのがサイコーだと観光客の言葉です

校 区	集 落	名 称	理 由
一 湊	吉 田	東シナ海天望所 集落内展望台より 集落内に大きな石がある	・ここから見られる夕陽はとても美しい ・夕日がきれい ・島々（黒島、口永良部島、硫黄島、竹島、等）が見える。 ・巨大な石がある
		屋久島観測候所跡、矢筈灯台、八幡様	・建築物として、見晴らし、パワースポット
		測候所跡	・歴史、果たしてきた役割
	一 湊	八幡さま	
		矢筈岳公園	・山頂からの景観、神社（パワースポット）
		海水浴場（湾内）	・砂がだいぶ少なくなったが、のんびり出来る。ダイビングスポット。
		一湊海水浴場	・海水がきれい
		一湊海水浴場+矢筈岬+矢筈神社	・島で一番安全で設備の整った海水浴場。
		一湊漁港	・天気の状況が良ければ岸壁をぐるっと廻るだけで、色んな魚が見ることができる。時間帯によって漁師の人達に話が聞ける（方言も楽しい）
		一湊灯台	・絶景！！矢筈嶽神社に行くなら灯台まで行った方がよい。
		浜	・海水浴場、ウミガメ
		番屋峰	・景色が良い
		夜空	・町中でもたくさんの星がみえるから。
	志 戸 子	志戸子ガジュマル園	・昔から大切な所だと思う。 ・ガジュマルが見られる ・すばらしい
		志戸子ガジュマル公園、海	・木のトンネルを抜けたあとの海が綺麗
		ガジュマル園、ガジュマルキッチン	・ガジュマルの役割が学べる。志戸子ならではのものが食べられる。
		志戸子、がじゅまるキッチン	・永田まで、食事をする事ができない方が良く来ているし、土地の料理でもてなしています。がんばっておられます。
		海や森の木樹	・集落の雰囲気、集落内の森や海の見える景色
		住吉神社	・台風で今は壊れてしまっていますが、パワースポットとして有名です。とても雰囲気があります。
		日出子川の滝（志戸子と一湊の間）	・中学生の頃、日出子の滝でスベリ台をした。今年も孫や子供達を連れて行き滝でスベリ台をさせて大変好評だった。（日出子橋から滝が見られるように樹木を少し伐採して欲しい）
永 田	永 田	永田岳	・里から唯一見える奥岳
		永田岳を永田橋から見る風景、永田灯台	・永田橋に限らず、色んな公道や農道から眺める光景の美しさには、格別なものがあります。（永田岳の真下に広がる田園風景と永田川の美しい景観には誰もが目を見張りますよ）

校 区	集 落	名 称	理 由
		里山の景観、永田岳	
		永田浜	・ 夕日が綺麗
		永田浜、いなか浜、前浜	・ 美しい
		いなか浜	・ 白い砂浜が広がる前の青い海、夏には海亀の上陸した足跡が多数残り、感動する美しさ
		京大研究施設 西部林道	・ 世界でも著名な研究で一時は諸外国から講習参加もあった。その研究手法、フィールドワーク、猿をはじめ野生動物と自然環境との関わり方や考え方は、昨今の教育体験には大きなインパクトや深い体験ができる要素があり、ありきたりの観光修学旅行から一歩踏み込んだ社会課題等を考え実際に自ら行動する学びや、永田集落の田んぼ、浜などと合わせて英語やリベラルアーツなどを取り込んだサマーキャンプフィールドなどの招致も考えられる
		山・川・海・田んぼ	・ 屋久島の中で全てがある所
金 岳	本 村	口永良部島八景	・ エラブでの数少ない絶景スポット（通行止めや草刈りが不足しているのが残念・・・）
		エラブ八景	・ ハカ所に看板があります。自然景観を見回るとエラブの自然の豊かさに出会えます。
		本村温泉、湯向温泉	・ 口永良部島の貴重な観光資源である温泉が楽しめる場所であるから
		山温泉	
		星空	・ 都会では見られないほどの星がふる
	湯 向	湯向温泉	・ 観光客の方が温泉めぐりをする人達が増加している傾向になっていると思う
そ の 他		千尋の滝、竜神の滝、しろおきの滝	・ すばらしいから
		田代浜	・ 砂浜、浴岩
		県道をきれいに	・ 道路がきれいだったら、町全体がきれいにみえる！（草刈り等）
		太鼓岩・うみがめ館	・ 太鼓岩から眺めは、SNS 映えしそう。うみがめ館は小さい子どもも喜ぶと思う。
		いなか浜、うみ亀観察	

《文化・歴史》

校区	集落	名称	理由
栗生	中間	民俗芸能	・最近見る場がなくなっているためもっと増えたらいいな…とは思う
		芸能保存会	・高齢が進み、活動があやぶまれている。
	栗生	年中行事、墓地 栗生神社、中間、がじゅまる	・歴代な墓石 ・つなひきで歌っている歌詞の内容は各集落で違うらしい。
		十五夜の歌	
八幡	小島	シドッティ神父上陸地 月が関わる行事や文化が沢山ある	・シドッティ神父上陸記念祭が行われている
	平内	平内歴史資料館	・大量の生活道具、資料が陳列されているが老朽化しないうちに対策を講じて欲しい
		岳参り	・我国の山岳信仰。広く知ってもらうことが必要と考えます。
		温泉まつり	・むかしからある地域の各種行事(季節の折々の行事)
		古い墓等(相良一部べえ等)数カ所ある	・里めぐりを利用して紹介している
	湯泊	ボンカン原木	・やはり屋久島の特産品と言えばボンカンとタンカンは外せないため
		湯泊神社大祭 山、海、里	・11月23日は湯泊神社、大祭開催日。この日は青壮年、中学生女性陣も参加し、笠踊り手踊りを披露・笠踊りは町の無形民俗文化財に指定されている。 ・これだけバランスの取れた町は存在しない。生きてく術を学ぶ体験を取り入れたら良いと思う。
神山	高平	目の神様	・高平で昔から大切にされている神様だから。
	麦生	ナギナタ踊り	・数少ない伝統芸能 ・お盆に小五年生～大人まで参加してナギナタの奉納踊りをして初盆の方の供養の為にも踊ります ・扇子や薙刀を使って牛若丸と弁慶の戦いを表現しているところが格好いい
		大山神社	・歴史的な背景は分かりませんが、神秘的で美しい神社です。
	原	原救益神社	・歴史的にはいろいろおもしろいので見せる工夫も必要かと思います。
		鬼火焚き 五調踊り	・伝統があるから。
		トローキの滝	・直接、海に落ちるめずらしい滝
		千尋の滝	・歴史ある滝
		鑑真、シドッチの上陸地	・古代からの交通の要であったことの証
		屋久杉	・自然の偉大さ。
		人々も公園も、草と木も、自然体の「山河公園」	・自分の住まいの家を出て徒歩5分弱で県道、いつも両脇の歩道も「山河公園」も自然体でいて美しい。

校区	集落	名称	理由
			川の流れの音も素敵です。そして、5月には空中に沢山の鯉の吹き流しがとりどりに共に風で泳いでいます。すばらしい風景にうっとりです！ ・夕方少し歩く目的で散歩をします。往きかう人は子ども、少年少女、おじさんも、おばさんも、どなたも笑顔で挨拶です。人々は誰もがやさしいです！
		移住者との関わり	・移住者の歴史と地元民との関わり
	尾之間	棒おどりや、十五夜祭 おのあいだ弁 尾之間温泉	・伝統あふれる行事 ・おのあいだの言葉、方言 ・区民のふれあいの場所となっている
安房	松峯	まつばんだ	・散歩停の緒方麗さんの歌うまつばんだは魅力的で、人を惹きつける。
		屋久杉権現太鼓	・屋久杉でできた屋久杉権現太鼓は音が響いてとてもきれい。観光客も体験を楽しんでくれている。
		屋久島の開拓地の歴史を知る	
	安房	泊如竹	・神木屋久杉を伐採してよいという神示により屋久杉を税として奉納したこと。安房の水路の整備。
		泊如竹、小杉谷小・中学校跡 如竹踊り	・屋久島聖人と称えられ、屋久島が生んだ偉人だから ・江戸時代の住民の暮らしに影響を与えた方
		里めぐり	・泊如竹さんの功績
		各集落めぐり	・屋久島唯一の偉人、泊如竹
		屋久杉自然館	・各集落によって文化がことなるから ・屋久杉について知れる
		山岳神仰、岳参り	・自然環境と密接に関わる文化であるため
		夏祭り	・花火が目の前いっぱいに見られて圧巻 ・自然館
	春牧	屋久杉自然館	・屋久島の歴史が解かり、年齢に関わらず楽しめる場だと思う。
		盛久神社	
		里めぐり	
	平野	岳参り	・屋久島が守ってきた文化であり、自然を敬い和を大切に作るヤマトの心が受け継がれているため ・開拓集落なのでこれという歴史はない
		小杉谷	・トロッコを整備して何らかの形で観光に役立ててもらいたい
		十五夜の綱引き	
		鬼火炊き	
		七草 焼酎	・おいしい
小瀬田	小瀬田	四ツ竹踊り	・心に残る音楽です

校区	集落	名称	理由
	長峰	長峰入植、開墾、早崎鉦山	・ 古くからの集落ではなく、ある時点で人々が生活や産業を創ろうとしてきた記録そのものが歴史とつながる。
宮浦	宮之浦	小杉谷 文化村センター	・ 島の文化、歴史を映画化し、観光客に喜ばれている。 ・ 屋久島観光のスタートライン
		伝統行事を含めたもの、先人の功績等	・ 今、将来の学びは先人の歴史を島民がしっかりと学び、継承していくことが大切です（温故知新、自然も人も）
		益救神社	・ 歴史的に価値がある ・ 古くからあり、島を守ってくれる神社として大切にされている。 ・ 海が近く、歴史が有り、神聖さがある ・ 歴史が感じられて観光客も多い ・ 延喜式神名帳に載る貴重な歴史がある ・ 落ち着きます。
		民族資料館	・ 屋久島の人の昔の暮らしが分かるから
		歴史資料館や屋久島自然館	・ 屋久島の昔の歴史や屋久杉などの文化などあるからいいと思う。
		屋久島太鼓、鬼火焚き、門祝い（祝い歌）	・ 太鼓の音を聞くと、年が明けけると思うしほっとする。鬼火焚きも正月が開けたと実感するし、門祝いは子どもや青年団の数が少なくなって来ない年もあるが、今年は良い年でありたいとこれを聞きたび思う。
		岳参り 岳参りや里山巡り	・ 山の神と島民がつながる日。年2回？ ・ 何処にもない唯一無二
		岳参りの入口	・ 屋久島山岳信仰の象徴施設
		岳参り歩道の再考策 縄文杉	・ 最大の樹齢で歴史のある屋久杉だから。
		屋久島の方言の違いを楽しむ	・ 各集落で方言があるので5-10個位の単語等を提示し、自分の足で住民と交流収集
		バンビ	・ 島民と観光客が交流できるから
		御神山祭り	・ 伝統はまだ浅いかもしれませんが、花火大会は迫力がある。ステージでの演芸も時代に沿ったモノで、盛り上がっている♪
	楠川	楠川城跡	・ 屋久島で最も早く山へと入る登山道がつくられたのは楠川ときいた。戦略的にもそれだけ重要な地形と言える。
		神社の大祭、古文書、公民館の活動	・ 昔から伝わる郷土芸能、集落の宝物の古文書（歴史）、写真（昔からの～集落の風景）
		楠川天満宮、熊野神社、楠川城跡地、楠川盆踊り	・ 宮崎の高千穂峡を観光した際、高千穂神社の夜神楽に感動した。そのようなことが出来ると思う。

校区	集落	名称	理由
一湊	吉田	鬼火たき	・ 長きに渡り受け継がれている
	一湊	松山遺跡 鯖節工場 樟脳製造	・ 漁師町として栄えてきた証のようなものだと思うから ・ 一時期は塩や米などと共に専売品にも指定されていた樟脳。今では、日本に4ヵ所しかなくなった製造所のうちの1軒が一湊にある「くすのきガレージ」製品だけでなく、樟脳の歴史も知る事ができる。(要予約)
		浜まつり、お盆、十五夜	・ 自由参加でわきあいあいと。
		集落	・ 地元集落の歴史をしるべき
		番屋峰と大浦の湯	・ 太平洋戦争の遺構の上からの見晴らしのすばらしさ。簡単なハイキングルート。 ・ 沸かし湯ではあるが、海の側にあり、海遊びやキャンプ場利用者にとっても便利
		矢筈嶽神社	一湊の湾の対岸にある。今でも、洞窟の中には水滴がしたたり、古い歴史がありますが、道路が不備。
	志戸子	47士の踊り（しじゅうしちし） 毎年11月頃ある文化祭 住吉神社	・ 戦争に向う人を送り出す時にうたわれ踊ったようです。 ・ 昨年文化祭の舞台発表を見て多種多様な発表が有り感動しました。 ・ 神社までの道が素敵。 ・ 参道に並び立つ老杉や社殿のとなりに立つ御神木のアコウの木が見事（台風により倒木・・・）
永田	永田	七つ以上ある神社と行事 屋久島の成り立ち、地形	・ 民俗学や文化人類学的に価値のある小山神社はじめ七つの神社があり、十五夜の行事など ・ 類稀な地形が屋久杉などの自然環境をもたらした。
金岳	本村	棒おどり 歴史上主要な施設や文化の説明	・ 屋久島とまた違い、地域差があるのがいい ・ 文化歴史の主な施設に案内板が立てられています（文化村が実施）
		向江浜噴火跡	・ 口永良部島が活火山島であること、大噴火の歴史が過去にあった事が実際に目で見て知ることができるため。
		硫黄採掘の跡	・ 現在立ち入り禁止だが新岳登山が出来れば景観と共に歴史についても知れ楽しめる
その他		屋久島の民話など 一湊の祭り 観光客に屋久島の文化、歴史をもっと知ってほしい	

《食資源・料理》

校区	集落	名称	理由
栗生	中間	海・山の幸	・海では魚、貝等を採っている。山には山菜等が豊かにある。
	栗生	飛び魚、つけあげ、焼酎、亀の手 タイ料理、パン屋、カフェ、そば屋	・魚のカラアゲやつけあげおいしい。友達も大喜び。 ・西部林道に入る直前の最後の集落で唯一、食べられるお店だから（但し、開店日は、毎日ではない）
		ろうそくだんご	・数年前に手作りした友人よりいただきとてもおいしかった。
		首折れサバ	・日本一と思った。
八幡	小島	タンカン、ポンカン、パッションフルーツ、じゃがいも、山いも	・特農家が3品目をたくさん作っている ・香りが良い
		たんかん、ぽんかん、バレイショ パッションフルーツ	
	平内	山菜（たけのこ、はんだま、ボタンボウフウ、わらび、月桃、月下美人など食べられる野菜が沢山ある。）うなぎもいる	・あまり、どこのお店に行っても、首折れサバや飛び魚など、メジャーな物が多く、野草はあまり使われているイメージがない。（食中毒の心配もあるが、竹の子などは使えるのでは？と思う）
		ポンカン、タンカン他果実。魚介類。 たんかん、ぽんかん：丸ごと冷凍にしたりジュースにしたりと輪切りにしてワイン漬け（サンテリア）で楽しめる。 屋久島牛	
神山	湯泊	たんかん 干物	・島の南部に属し味も良い。 ・日持ちのできるものがあつたと思う。古い知恵を漁って欲しい。
	高平	かからん団子	・子供たちも大好きだから。私も子供の時から大好きな団子。
	麦生	かからん団子（餅） 里芋	・健康的、いたみにくい、シンプル、サスティナブル ・安定した供給ができていて、使用しやすいと感じる。
		地元の野菜	・麦生は無人市が多く、ぽんかん、たんかんなど、おいしい地元野菜が安く手に入ります。
		そらうみ、アラスカドーナツ、ヴィーダ、六角堂、VIVA	・いろいろありますが、営業していない日が多いです
		たんかん	・とても美味しいたんかんを農家さんが育てている
		サンカラホテル&スパ屋久島	・島の食材から作ったフランス料理は日本だけではなくて、世界各地からの観光客に感動させます。
原	原港	かからん団子	・おいしいから。
		かわひこ（もち芋）	・伝統野菜であり、栽培に適した気候だから
		原港	・港の近くで釣りをしたり泳いだり、釣った魚を食べ

校区	集落	名称	理由
		タンカン	・ できる ・ タンカンの様々な活用促進
	尾之間	たんかん	・ 甘くておいしい
		やくしか肉	・ やくしまでしか食せないから
		地魚（ヘキ、トコブシ、カメノテ）	・ 住民が日常で食べている地魚等を観光客が楽しめる場があっても良いのではない
安房		タンカン	
	永久保	つわ、たけのこ等、山菜	・ 資源は多いと思う（観光資源としては活かしきれていない）
	船行	地魚や地場農産物のホテルや民宿、飲食店で活用	・ 飛魚や鯖以外の地魚があまり活用できていない。農産物もスーパーの島外物が主流。安い物に流れている。
	松峯	ジビエ料理、黒豚	・ ジビエを使ったバーガー、焼肉は臭みがなく食べやすい。黒豚のしゃぶしゃぶもおいしいと評判である。
		新鮮な魚介	・ 首折れサバの刺身、カメノテ、トビウオの姿揚げなど、屋久島でしか漁れない新鮮な魚介がとてもおいしい。
	安房	トビウオ料理	・ 土産品としても（ミンチ） ・ 何にしても美味だから ・ 安房といえば飛び魚
		とびうおの唐揚げ	・ とびうおの唐揚げは、身がふっくらしていて美味しかった。 ・ 以前安房にある店で食べたときにとても食べごたえがあり、また食べてみたいと思ったから
		トビウオの姿揚げ、すり身のつきあげ	・ 漁獲量の大半を占めている時代から
		焼酎・トビウオ・ぽんかん・タンカン	・ 魚に関しては、いろんな料理にも加工可能。みかん類に関しても、ジュース等に加工。
		飛び魚つけ揚げ	・ 美味。
		アサヒガニ	・ とてもおいしいと思う
		かからん団子	・ 身体によいよもぎをふんだんに使ったおやつ。
		潮騒	・ 美味しい
		焼酎	・ 飲めなくてもチャレンジしてみるのはいいい機会
		たんかん	
	春牧	バナナ、時計草等、栽培に適した畑作物。	
		みち草のカツ丼	
		とびうお	・ あまり詳しくない
		首折れサバ	
平野		屋久島の野菜	・ 巨石のエネルギーによって育てられた野菜や果物は本州のものとは比べられないほど美味しいです。
		茶屋ひらの	・ 郷土料理がうまい
		なし	・ 他集落とほぼ同じと思う

校区	集落	名称	理由
小瀬田	長峰	牛豚茶	・ のびしろがある
		薬草	・ 食品の高騰と病気で苦しんでいる人が多いから
宮浦	宮之浦	けんちゃん、かからん団子、つの巻き	・ 全て母の手作りで食べてきた。つの巻きは2枚の葉を重ねてきれいな三角おむすびみたいな形になる。昔から見ているがうまくできない。まさに母の味だし、ひもも使わずよく巻けると思う。
		けんちゃん	・ 各地区で味付けが違いとても美味しいです。 ・ とし食堂で定食の小鉢として食べた精進料理として出すソーメン(?) がおいしかったから
		飛魚系の料理	・ 屋久島特有の食物
		とびうおのから揚げ	・ 屋久島で有名なとびうおは、味がしみて屋久島だけしか食べられないから
		とび魚のすりみ	・ 首折れさばの料理もいいと思うけど、とび魚のすりみで作った「つけあげ」も屋久島の郷土料理と言って良いと思う
		飛び魚、タンカン	
		トビウオ、サバ料理、カライモ料理	・ 古い料理のほりおこし
		飛魚・たんかん・ぽんかん・首折れさば	
		首折れサバ	・ 刺身で食べる首折れサバ、おいしいです。ですが、生で食べられない人にはサバすき焼きです。 ・ 新鮮でおいしい ・ 屋久島独特の食材だから ・ 都会では食べられません。
		魚介類	・ 特にサバ、飛魚は美味しい。
		海の幸	・ 美味しい海から採れる魚貝類のおいしさに堪能できる
		サバすき、つけあげ、旭かに	
		サバ料理	・ 焼き、煮る、生等、何でもおいしい。
		海舟・潮騒・小花	・ 美味しい
		潮騒	・ 屋久島のものを美味しくいただけるから
		地魚	
		アオリイカ、コウイカ、イソモン、長命草	・ イカは刺身にしてもお寿司にしても天ぷらにしても何でも美味しい。イソモン、長命草も天ぷらで食べると美味しい。
		ツワ	・ 屋久島ならではの食べ方
		その季節の料理、とびうお、竹のこ、山菜	
		野、山、海、川での食材探し	・ 自然の中に色々な食材があり自分にとっての一番の料理を発見するかから団子の紹介
		① こもれび	・ こもれび⇒おしゃれなお好み焼きで、おいしい上に、
		② 三岳	良い空間、時間を味わえる

校区	集落	名称	理由
		③ 若大将 ④ ヒトメクリ ⑤ 新月堂 ⑥ すばらしい	・三岳⇒屋久島の水がとてもおいしく、お酒もおいしい ・若大将⇒お刺身がおいしい ・ヒトメクリ⇒鹿肉がおいしい ・新月堂⇒紅茶のケーキや、屋久島のたんかん、お茶を使ったお菓子がおいしい ・すばらしい⇒本格的なカレーが食べられることに感動するし「色々な国の人が生活している屋久島」を感じられる
		かからん団子、つのまき かからん団子	・島外にはないものだから ・観光客の方々に人気！
		あくまき、かからんだんご 和茶灯	・屋久島はお米が残念な店が多い！その中でも「和茶灯」はおいしい。
		飛び魚、タンカン	
	楠川	薬草	・化学合成の薬などの西洋医学に頼るだけでなく、医食同源という考えにもなる。よもぎやゲンノショウコ、スギナなど、屋久島は薬草の宝庫、薬草について紹介しつつ、自然と共に生きることの実践的な中身についても触れるには屋久島はぴったりだから。
		かからん団子、つのまき、ツキアゲ、トビ魚、つわぶき、竹の子の煮しめ	・1年の間のおまつり事、行事などにそれぞれの家庭で作られる
		かからん団子、ガジュツ、ウコン	・観光客が「じょんこう」で気軽に食べられる。ガジュツは、江戸時代から歴史があり、昭和初期より恵命堂により、全国に広めた歴史がある重要な作物だから
		楠川城売店 つの巻き、かからだんご、アク巻き	・カレーが美味
一湊	吉田	かから団子（よもぎ餅）	・集落のいろんな場面で使われている
	一湊	屋久鯖 サバのさしみ	・新鮮でおいしい
		一湊 鯖さしみ	
		首折れサバ サバ煎汁の湯どうふ	・昔からのなじみでサシミを食べる。 ・サバ節製造の時の煮汁を煮詰めて作る煎汁が、サバ節工場が減った今では、とても希少なものになりつつある。その煎汁を溶いて使う湯どうふは絶品
		ベーキ(オヤビッチャ)の唐揚げ	・移住してきたころ、スーパーにオヤビッチャが並んでいてびっくりした。インパクトがある。
	志戸子	ガジュマルキッチン キイナ	・ベテラン主婦が作った料理や、すべて手作りのお菓子は、美味しいし、体にも優しい
		秋サバの刺身とトビウオのすり身、カカラ団子	・非常においしいので観光客にも是非食して欲しい！

校 区	集 落	名 称	理 由
		飛魚のつきあげ つけあげ 志戸子でしか作られないつけあげ 飛魚のミンチ ミンチ	・各家々で作られ寄り集まる「結」の精神 ・志戸子のつけあげはにらが入っている ・ニラを使っており見た目は緑色と珍しいが味は絶品。観光客にも人気 ・"にら"入りの緑色のミンチがとても美味しいです ・おいしいので
永 田	永 田	屋久さばらっきょ 食事をする所が少ない ポンカン、タンカン、米 ポンカン、タンカン、米、茶、その他、豊かな農作物類にも恵まれていた 春の竹の子 素朴なふくれがしやかからんだんご、祭事のガネなど トビウオ、サバ、オヤビッチャ	・おいしい ・現在では、人口の減少と高齢化で荒れた私有林や畑も目立つが、気候的には何でも作物類が育ちやすく（レモン、パパイヤ、ビワ、バナナまで）昔はナシも各家々の庭で立派に育っており、もいでよく食べたものである。 ・関東などでは手に入りにくい細長い新筍の天ぷらや他の野菜と一緒に煮しめは最高のおしさ。 ・特に特徴的でなくとも、材料の採取段階からガイド説明や解説付きで参加者が作って食べられる体験型があれば、観光滞在につながるとおもう ・個性的な料理方法が在る。
金 岳	本 村	トビウオ、サバ 魚、シツ、オキバタ、コメジロ 大名竹（生のてんぷらなど）魚（ヘキ、磯物） 大名筍 地元の魚やタケノコを使った料理	・美味しいのに市場に出ない。屋久島でも地域に差がある好ききらい ・タケノコとりと料理保存法は島民の大切なイベントですが、観光にするのはかなり工夫が必要。（民宿単位？） ・取って食べるまでの体験としても楽しむことができ、口永良部島を代表とする山の幸であるから。
そ の 他		飛魚の姿揚げ 鯖の刺身 けんちゃん、米（永田米）、ぽんかん、たんかん、パッション	・屋久島ならではの食べ物 ・他県では食べられない。

《イベント・土産品》

校区	集落	名称	理由
栗生	中間	十五夜綱引き、岳参り、集落運動会 土産品	・参加者が少なくなっている。 ・まだこれと言った物品なし。考えるべきだと思う。
	栗生	十五夜祭り、盆踊り、地域運動会、たんかん、ジュース等 上記のお店が実施するマルシェなど	・満月の下での綱引きや、その時期に観光されていれば、是非見学・参加をすると盛り上がるのでは。
		たんかんピールチョコレート	・チョコの甘さとたんかんピールの相性が良い
八幡	小島	シドッティ神父上陸記念祭、ひまわり祭り	
		ぼんかん、たんかん、新米、バレイショ	・農家集落ですので、3品目はたくさん収穫している
		夜ごもり	・町でのお見合いパーティーも良いが集落の夜ごもりとコラボしてもいいのでは？と思いました。（目的が出会いだから）しかも、送り迎えの2回あります。町が男女の募集をして参加希望の方を各集落に割りふるとかどの集落がいいか希望を聞くとか…。町のお見合いパーティーの1部に入れてもらえるかと奥手な男子の可能性も広がるかと・・・。
	平内	とびうおのすりみ、よもぎだんご	・土産品として利用する事が多々あります
		たんかん	・一度食べるとリピートする
		平内海中温泉夏まつり	・屋久島で、一番早い祭り、1200～1500名の来場者がある ・島で早い夏祭りで、若い方の参加が多く、活気があります。 ・温泉まつり
		安房夏祭りの花火 若い人の男女の交流	・海に写る花火は素敵です。 ・高齢化が進む中、人口減少が危惧。屋久島に魅力ある活動でカップルが生まれる事を望む。
	湯泊	奉納踊り たんかん	・琉球と本土を結ぶ重要な意味を感じる。 ・他所より甘い。（集落のブランド化を進めるべき）
神山	高平	十五夜、鬼火たき	
	麦生	ぼんたん館（土産品を売っているところ）	・お土産だけでなく、地元の野菜も売っている
		たんかん	・味にバラつきがなく、おいしい。
		たんかん、果物 ポンカン、タンカン	・無人市の野菜等、美味しい。 ・この地区はポンカン、タンカンの生産に適しているのかな。とてもおいしいです。
		トビウオの漬け サンカラホテルの屋久島ティグレ	・他の県で見ないから ・屋久島のポンカンと茶葉を使用し、フランス菓子の

校区	集落	名称	理由
	原		ティグレをアレンジしたお菓子です。
		ぼんかん、たんかん	・ ぼんたん館があり、お土産が購入できる
		たんかん	・ 他地域の人に送るととても喜ばれる。
		げじべい販売所	
		げじべえまつり	・ 原が盛り上がるイベントだから。
		島内の祭り	・ 島内完結ではなく、対外的なアピール
	尾之間	おのあいだ温泉祭り	・ 一年で一番盛り上がる
		温泉祭り	・ こじんまりしているのがよい
		「夏祭り」舞台の上（司会）と下（地面に立つ人々、子ども達）、そこで楽し気なクイズ展開	・ クイズ、答えが×（バツ）の人が殆どいて、地面の輪から外に出る。小さな少年が、1人だけ正解で、輪の中に残るなど面白かった。一方、子ども達による太鼓の演奏がすばらしいもので大拍手だった。管楽器1本でその指揮をとる人がすばらしく、大拍手の太鼓演奏だった
			・ 他に、（家族全員5人出演の「さぎに騙されるな」というテーマで、小さな坊やお母さんも小学生も、お父さんの台本、演出、出演で、なかなかの演劇も楽しませて頂いた。）
			・ 敬老の日に、別ステージでしたが、地域の人々で盛り上がるのはご立派でした。他にも、いろいろな芸のある人が沢山おられる地域なのかと思えます。
	船行	島内で造られた土産が少ない	・ お菓子の土産の製造元を見ると鹿児島市になっている。興醒めする。
	松峯	屋久島夏祭り	・ 祭り当日は無料のカヌー体験、視界に入りきらないくらいの花火が打上がり、満足できる。
		屋久島夢祭り	・ 行ったことはないが、灯ろうがきれいでロマンチックと聞く。秋にお祭りで盛り上がるのが良い。
		花火大会	・ 間近での大迫力の花火が素晴らしかったから
	安房	屋久島夢祭り	・ 秋に祭り、花火が観れるところ
		屋久島夏祭り	・ 島民や観光客も共に楽しめる
		安房夏祭り、夢祭り	・ 島民や観光客も共に楽しめる
		夏まつり	
		花火大会	・ 雰囲気がとても良い
		地区の運動会	・ 島内外の方々が楽しめる
			・ 観光客向けではないかもしれませんが、地区で一体となって盛り上がったことがとても楽しかったです。あと、抽選会の景品が豪華で驚きました。
		屋久島ブレス	・ 商品の説明を聞いていると屋久島の自然生態系やらに繋がっていて勉強になる
		焼酎	・ 焼酎は、鹿児島島の焼酎と比べて、すっきりしていて飲みやすい。
		あごだしペペロンチーノ	・ あごだしペペロンチーノは、とびうおを使った新し

校 区	集 落	名 称	理 由
		焼酎三岳、屋久の島など	いメニュー。とても美味しかった。 ・超軟水の屋久島の水を使った焼酎は、それだけでも他とは違うので、もってかえってもらいたい。もちろん水も一緒に。
		たんかん あごふりかけ	・とにかく美味しい
	春 牧	三岳	・島唯一の焼酎なので。
		盛久祭り（旧とびうお祭）	・集落の産業、地元の人々と交流がはかれる。
		岳参り（秋分の日）	・年に一度、区民の幸福を願う実施する登山。標高965.9mの春牧前岳を目指す。道中の景観も良く、小学生でも参加しやすい。
		屋久杉工芸品	
		屋久杉・地杉のお土産	・屋久島の木で出来たものに価値がある
		タンカン	・農業の活性化
	平 野	地域のお祭りや伝統行事	・島人ならではのあたたかさ、フランクさ、隔たりのなさ、家に帰ってきたかのような安心感や親しみやすさが味わえる。
		焼酎	・三岳、本坊酒造が造っているお酒
		果実	
		たんかん なし	・おいしい ・他集落とほぼ同じと思う
小 瀬 田	長 峰	ぷかり堂	・これまでの屋久島にない創意工夫がなされているから
		盆踊り	・イベントで抽選会をして、外国の方が飛びあがって喜んでいたら、外国ではないそうで、時々そういうイベントもあればいい。
		お盆の盆祭り	
宮 浦	宮 之 浦	屋久島ご神山祭り	・舞台発表や屋台や花火などのイベントで楽しく出来る祭り ・神事をぜひ見てほしい。ロープを引っぱって火をつけるのも良いが、個人的にはかがり火台に射るのがすごいと思う。ただ一つ、屋台数が減っていると感じたのでもう少し増やしたらいいと思う。 ・山岳信仰を踏まえた伝統、文化の継承を目的に開催のお祭。
		ご神山祭りの花火	・間近で見られ迫力満点 ・単にすごい！
		ご神山まつり、宮之浦春まつり（各地区での春祭り）	・どちらも、地域の人達が楽しみながら、準備し、当日も、本人達も、お客さんも楽しめる。 ・どちらも、島外の祭りに比べて、小さい規模だと思いますが、火起こしや益救神社の例大祭などは、他では見られない特徴だと思う。
		ご神参まつりや屋久島夏まつり	・夏のまつりとしてとても花火大会がいいと思います。

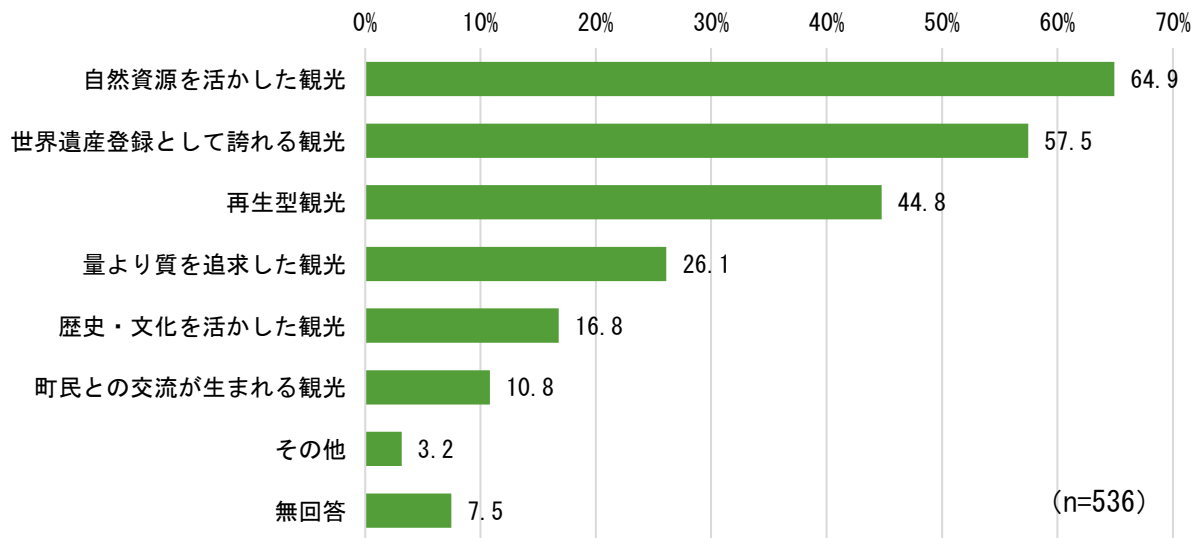
校 区	集 落	名 称	理 由
		やくしま森祭り	・全国で活躍されている有名なアーティストが毎年来て ている
		鬼火焚き	・各地区ごとに楽しめるところが良いです。
		十五夜の綱引き	・観光客も島民と一緒に参加しやすい
		十五夜	・歌や綱引き
		六月燈、屋久杉の土産	・屋久杉の土産は形もだが、匂いが好きだ。値が下が れば良いと思う。
		益救神太鼓	・年末年始の伝統芸能として伝えていきたい。年々、 観覧する観光客の方々の数も増えている。
		島のすべてのイベント	・自然の島ならではのイベントが後世に残ることが良 いかも
		屋久杉工芸品	・樹齢数千年の屋久杉を使った品物は、世界的にも貴重！
		屋久杉の小物	・資源が限られているから
		屋久島観光センター、屋久島ふ るさと市場	・品物が豊富な為
		永田の塩クッキー、フィナンシ ェヤクシマーノ、たんかんピー ルチョコ	・屋久島の素材が使われている事と味が美味しい事。
		馬場製菓の屋久島高校と開発し たお菓子	・屋久島高校の学習の一環になっている
		食べて歌って飲んでたのしめる 場所	・奄美に有って屋久に無いのはなぜか考えてほしい
		岳参り・サイクリング・三岳・鯖 節	
		飛び魚のすりみ	・特産の飛び魚のすりみは揚げても、鍋に入れても絶 品だから。
		飛魚ミンチ、屋久とろ	・知り合いに贈ると喜ばれる。
		サバ節	・一度食べたら、子どもから大人まで好まれる
		さばぶし	・おいしい
		さば節、すり身	・海の幸としてオススメ
		しか皮	・手づくり体験
		三岳	・屋久島では安く買えるから
		ポンカン、タンカン、焼酎三岳	・どれも屋久島名産品だから
		THE NORTH FACE	・知名度の高いブランドだから
			・イベントは夏に集中している
			・健康的に良い食材で人気が出ている
	楠 川	楠川城まつり	・子どもによる「楠川城合戦記」火縄銃による試撃ち ・毎年、たくさんの方がまつりを見にきて下さりにぎ わっています。つの巻き、かからだんご、アク巻き、 などアツという間に売り切れ完売です。
		神社まつり（各）、温泉、各集落 の運動会、花見、綱引き	・四季の（1年間）折々で色々なイベントで楽しい1 年を過ごしています。
		楠川盆踊り、楠川城祭り	・観光客や島外で暮らす屋久島出身の方が観たら感動

校区	集落	名称	理由
		恵命我神散	すると思う ・子どもの頃ふるさとの大阪のすみの駅前の薬屋にいつもこの薬の大きなのぼりがはためいていた。柴昌範さんなくして屋久島はない。彼ら地元の英雄をとりあげないで、愛郷心は育たないし愛郷心をもって、観光資源を生かせる人材も育たない。地元の人間のためにもなる。とりあげるべき。
	吉田	よいら市 旅行会社と提携でのイベント⇄農家生産者	・他集落の方々も参加され楽しい一時の語らいの場でもあります ・観光客によるポンカン、タンカンの収穫体験のイベント
	一湊	十五夜大綱引き 鯖節 つきあげ ひらみ屋の団子	・カヤとカズラで作る大綱、大綱作りから、十五夜本番までを一緒にする体験は一味ちがうと思う。だれでも参加可能。 ・おいしい ・よもぎ団子は懐かしい味がして、自分でもお土産でよく買っていくから
	一湊	十五夜の綱引き 志戸子ガジュマル祭り 灯籠流し	・神事の後に集落の人みんなで綱引きをする参加してほしい。 ・ガジュマルの樹木を見て欲しいのと、地元産のタコやサバ、夜行貝を食べて欲しい ・夜光貝や亀の手など集落でとれたものを販売。多くの人数で賑わう ・郷土の食があるから ・結構、楽しいので ・港の近くで開催し、魚も亀も見ることができる ・大きな川ではなく、ちょうどいい川幅で集落の初盆をむかえた方を皆で見送ります。見るにもきれいだし、あたたかいイベントです。
永田	永田	岳参り 神社の直会 永田の塩 とび魚まねき、永田の塩 土産品を作ったり販売したりする ところが無い 里めぐり	・島民の自然との繋がりの象徴 ・神社の多い屋久島では集落ごとに神社が有り、大祭が行われる。神事やその後の直会は興味深い。 ・他は各集落と同じで、ポンカン、タンカン、パッションフルーツなどが土産品。特に目立ったイベントはなく、しいて言えば「里歩き」くらいです。昔は「トビ魚まねき」などのイベントが永田浜で大々的に催されたそうですが。 ・楽しい

校 区	集 落	名 称	理 由
金 岳	本 村	十五夜の縄つくりと綱引き、棒踊り、温泉（４）	・住民が毎年協力して大綱を作る、踊りは５月から練習 ・タイドプール（潮時をみて、小魚や海藻など、天然の水族館！） ・満点の星、南の水平線近くに見えるカノープス（１等星） ・天然記念物、エラブオオコウモリ（ガイド有）
		運動会や十五夜	・観光客もまざって参加できる
		十五夜、運動会、など	・タイミングさえあればどなたにもご覧頂き楽しんで頂きたい
そ の 他		奉納祭（棒踊り、日ノ本踊り）	
		里歩き	
		お茶	・開拓集落に茶畑が広がった
		冷凍鶏のたたき	・友人がお土産に買って行き、美味しいといいお取り寄せする様になった。
		サイクリング屋久島、ウルトラマラニック、OWS	・観光目的外で来てもらえるから

屋久島町が目指すべきキーワード

- ・屋久島町が目指すべきキーワードとして、「自然資源を活かした観光」が 64.9%と最も多く、次いで「世界自然遺産として誇れる観光」が 57.5%、「再生型観光」が 44.8%となっている。

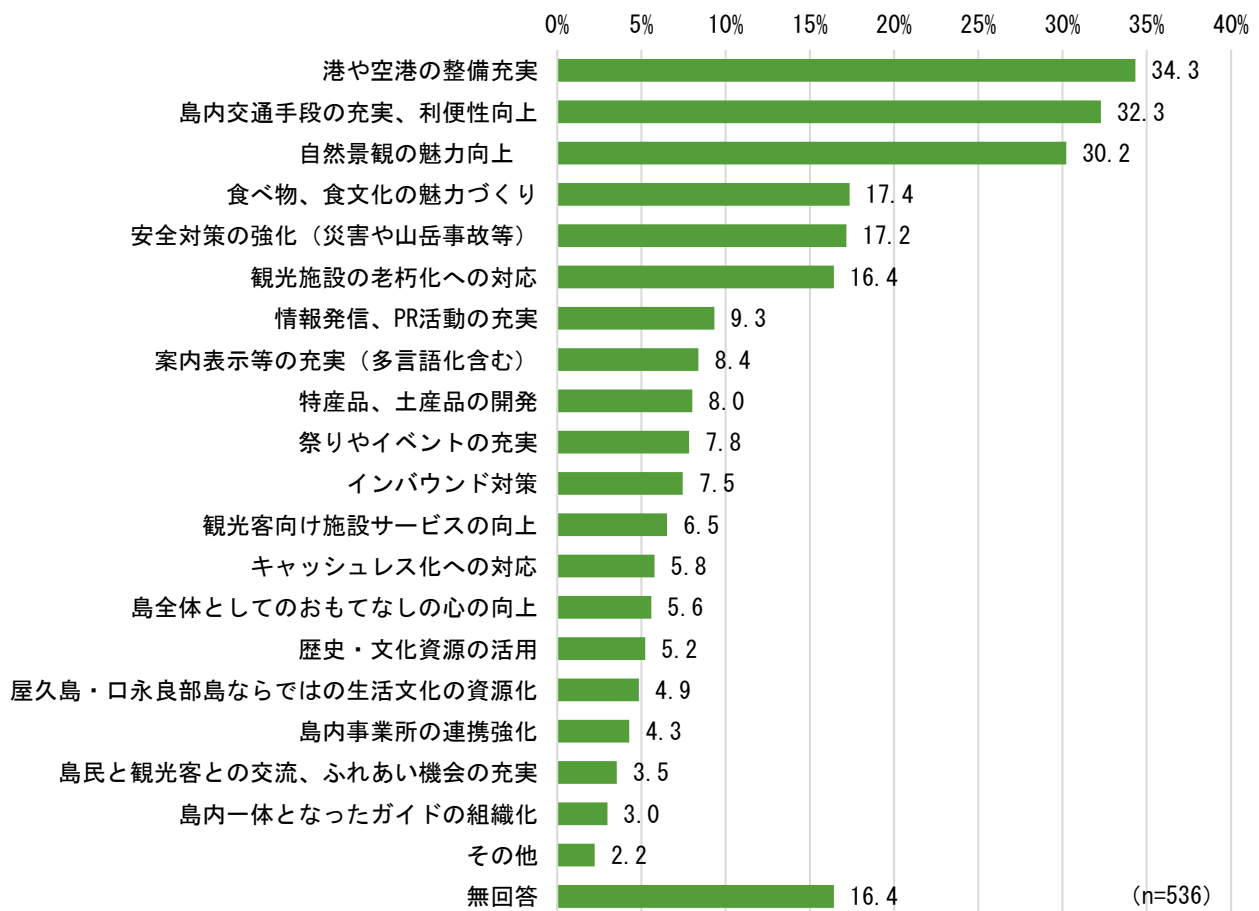


《その他》

- ・天然記念物（ヤクタネ五葉樹）の保存、植樹、拡大、維持に努めてほしい。
- ・自然を大切にすると同時に、ある程度、生活の利便性を向上させた姿→（例）コンビニの設置、セブンイレブン・ファミマ等
- ・世界中から注目される、エコロジカルに完成された社会システムの島
- ・富裕層が別荘地として長期的に滞在できる場所。ハワイ的なイメージ。
- ・第2の故郷
- ・人口が減っても観光地として発信していける観光
- ・人口増加に向けた観光
- ・移住したくなる環境づくり
- ・自給率 100%
- ・CO2フリー
- ・デジタルデトックス
- ・冬期でも楽しめる観光施設（例：温泉センターや山のケーブルカー等）
- ・雨の島の観光、クライミング施設とか雨の日にも楽しめる施設
- ・雨の時観光出来ない日などのため。図書室を希望します（ゆったりできるカフェ付き）→観光客のためだけでなく島民のためにも必要です。
- ・中高校生等を主な対象にした英語やリベラルアーツなど、あるいは海外大学、高校などと提携した教育、体験学習フィールドとしての活用
- ・結婚に至る男女の交流
- ・島内の交通の便利が悪い。バス停でよく待っています。
- ・道路がガタガタとか、草、木枝などの整備
- ・今ある観光資源は年々災害が多くなっています。災害対応の丈夫な施設を作ってください。
- ・生活排水が海に流れている。

今後の観光振興のために重要なこと

- ・「港や空港の整備充実」が34.3%と最も多く、次いで「島内交通手段の充実、利便性向上」が32.3%、「自然景観の魅力向上」が30.2%となっている。



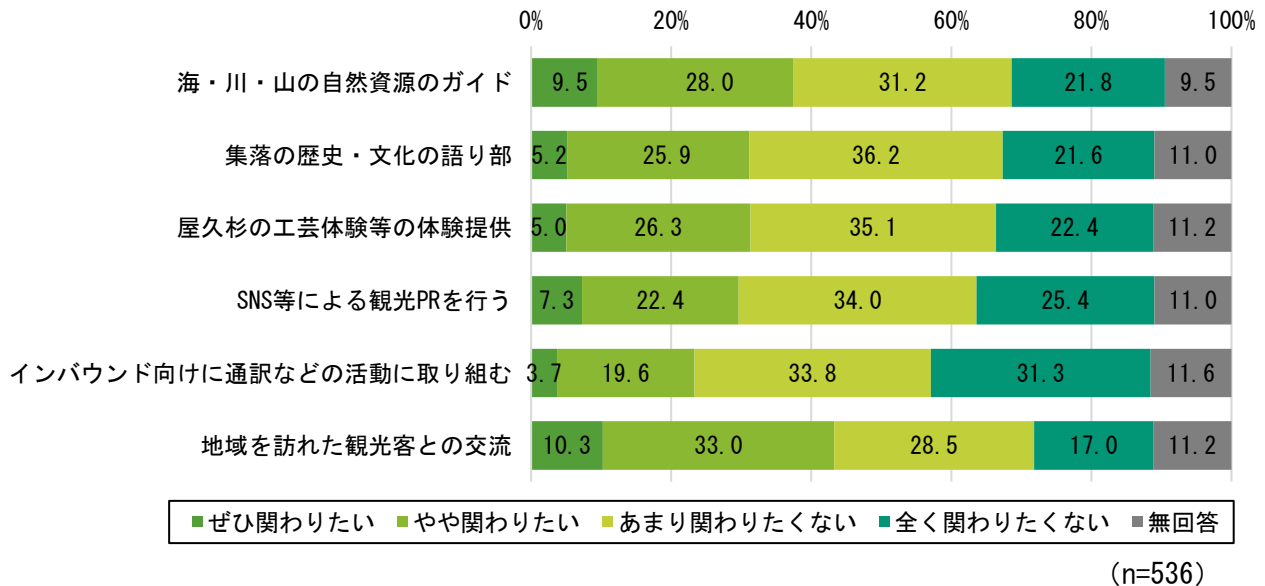
《その他》

- ・ 自然や森を守りつつ共存、美しい森を次世代は引き継ぐこと。末永く森を守り続けること。
- ・ 山に頼りすぎず海や川などの魅力をもっと広めること
- ・ 温泉や森林、自然資源を活用した癒しの島を推進
- ・ 観光協会の組織強化（産業の要にならなければならない）
- ・ 観光地（千尋の滝、大川の滝等）の入場料の設定、駐車場料金の設定
- ・ オーバーツーリズム対策、未来の島民の立場の尊重
- ・ 来島のための費用が高すぎる。低廉化のための施設要。
- ・ 島民が島の魅力を再発見するための機会向上（勉強会）・
- ・ 町内産農作物の島内消費
- ・ コンビニやチェーン店を増やすべき。つまらない。
- ・ 島内観光バスの発行
- ・ 天候に左右されない観光施設
- ・ 屋根つきバス停（びしょぬれの観光客を2回見ました）、無料の傘を置いてもいいかも
- ・ 島外から来る人はいわさきカードなんて持ってないので交通系ICカードでの決済は必要不可欠、トッピー、フェリー太陽Ⅱも

- ・ 山小屋や山のトイレの充実、整備
- ・ 山岳におけるオーバーユースへの対策（トイレ、交通など）
- ・ 公衆トイレやゴミ箱等、観光客目線で便利な環境づくり
- ・ 通学路の要素を兼ね備えた歩道とサイクリングレーンの整備
- ・ 島民が、白谷の入口や宮之浦港などで、個人事業の集客ができるようになること。行政では集客になっていない。
- ・ お店の営業時間や店休日をきちんと守る
- ・ せめて県道の草払いはまめに刈ってほしい
- ・ 労働人口の増加（移住促進）
- ・ 充分ではないでしょうか
- ・ 屋久島に足りないのは上記全部です

観光への関わり方

- ・関わりたい（ぜひ関わりたい＋やや関わりたい）と回答した割合は、「地域を訪れた観光客との交流」が43.3%と最も高く、次いで「海・川・山の自然資源のガイド」が37.5%、「屋久杉の工芸体験等の体験提供」が31.3%、「集落の歴史・文化の語り部」が31.1%となっている。



《その他》

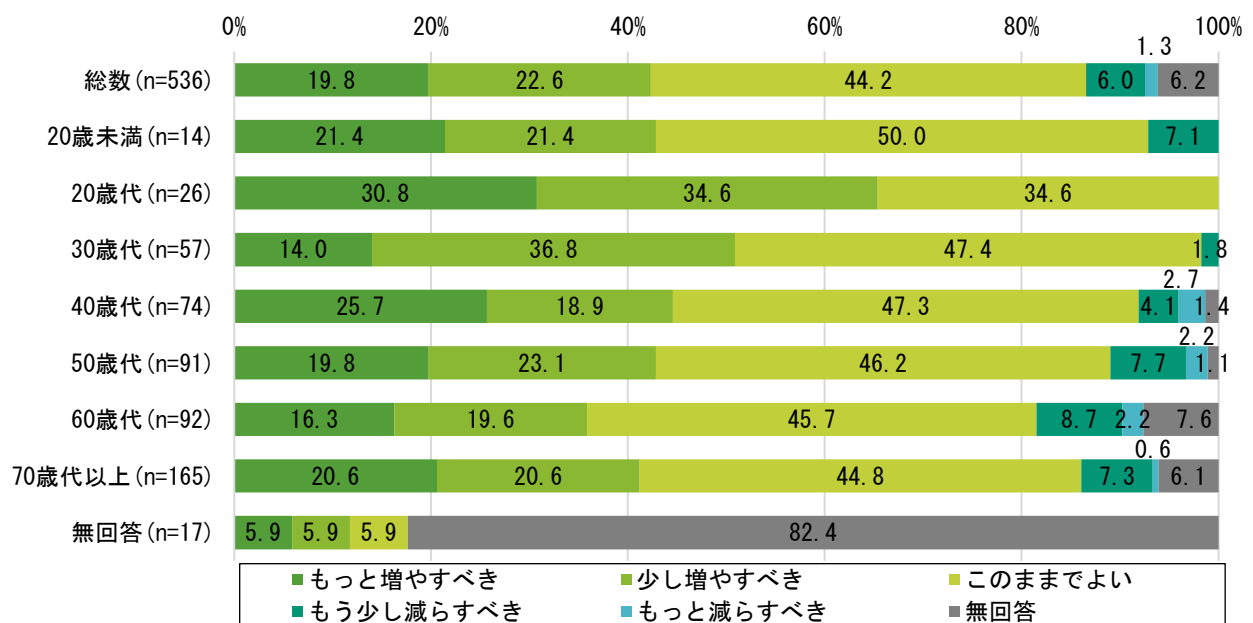
- ・自然保護に関する事
- ・希少植物の保護、増やす事
- ・環境教育
- ・島全体が持続可能な環境保護に力を入れた観光に向うことなら関わっていききたい
- ・環境文化を活かした教育旅行活動。
- ・身近な海の魅力とPR。そして活用として釣り体験、珊瑚礁に住む、色とりどりの魚。生きものの観察、特に子供が容易にいける場所の選定、整備。
- ・花いっぱい町づくり
- ・農業の魅力自然の魅力を県内外のイベントなどでPR
- ・島民の生活&文化向上への取り組み：ダーニング・ワークショップ→島民向け、学校の授業への導入
- ・偶然出会った観光客への道案内や、立ち話程度なら関わっても良いと思うが、ガイドや語り部をすすんでやりたいとは思わない。観光客と地域住民の交流や町民のおもてなしとは、どのようなものを期待されているのかイメージがわからない。
- ・システムのIT化に関する協力
- ・無電柱化
- ・食文化
- ・農産物のPR
- ・食べ物の関係で喜ばれるものに関わりたい
- ・不定休ではない、いつもOPENにしている町営のステキなレストランに関わってみたいです。
- ・子供食堂、老人1人住まいの人が食べられる様な場所に関わってみたいです。

- ・ 地産地消の料理、加工品の提案
- ・ 道路、設備の維持管理
- ・ 観光に関する考え方の共有アドバイザー。
- ・ 屋久島の良い所の情報発信 ・ 地方創生、観光立国の時代が必要としている情報等の発振
- ・ 屋久島町公式 Y o u T u b e r として活躍したい
- ・ 島民同志（地元民、島外者を混ぜて）で話し合っ て観光を強めていくかを決めたい。
- ・ 神社、仏閣、ほこらなどの紹介、整備、屋久島、日本の歴史をたどり関連づけながら楽しめるような観光資源にすること神社巡りが好きな日本人だけでなく、クリスチャンの人たちにとっても興味深いと思う。
- ・ 海外のお客様向けのリトリートの開催、「里めぐり」を英語、スペイン語で実施する。
- ・ 特にないが、島の歴史に携わる語り部の人々がいても良いと思う
- ・ 旅行中、雨で登山など野外でのアクティブな行動ができない時に、旅行者が宿や公共施設でできることがあればいいなと思う。
- ・ 公共の場での日本人らしい振る舞いを教えたい。例、温泉場でのかけ湯とか。
- ・ 1 日 1 組ぐらいの観光客の方との交流。ホームステイの様な感じのふれあい。
- ・ 私が観光案内に関わりたくない理由。1 年程前ヒッチハイクの観光客を車に乗せたことがあった。栗生の海岸や湯泊温泉を案内、夕方 5 時になった頃、観光客の彼は海ガメを見たいと切望。フランス人と私の会話はスマホ翻訳。夜中まで案内し最後は駐在所のおまわりさんに協力いただいて別れたという大変な思い出があるのでもうこりこり。
- ・ 屋久島で知り合いをつくるのが難しい。色々な人と交流できる活動があれば良いと考える。若者でボランティア活動の募集があれば、やりたいという人もいるので、ボランティアを募集してほしい。
- ・ 活動にかかわりたいと思っても、参加している友人、知人がいればかかわりあえるかと思うが、きっかけがないと関われない。
- ・ 高齢のため参加できない状態
- ・ もの忘れのはじまる年齢でどうも何もできないところに行きつきます。しかし、絵を描くことは好きですので、下準備の段階ならお手伝いはできるかと。
- ・ 健康に自信がなく上記に関わりたくないになります。（10 年程前は、多少、地域を訪れた人々と交流をしていました。）
- ・ 年齢を考えると特にありません

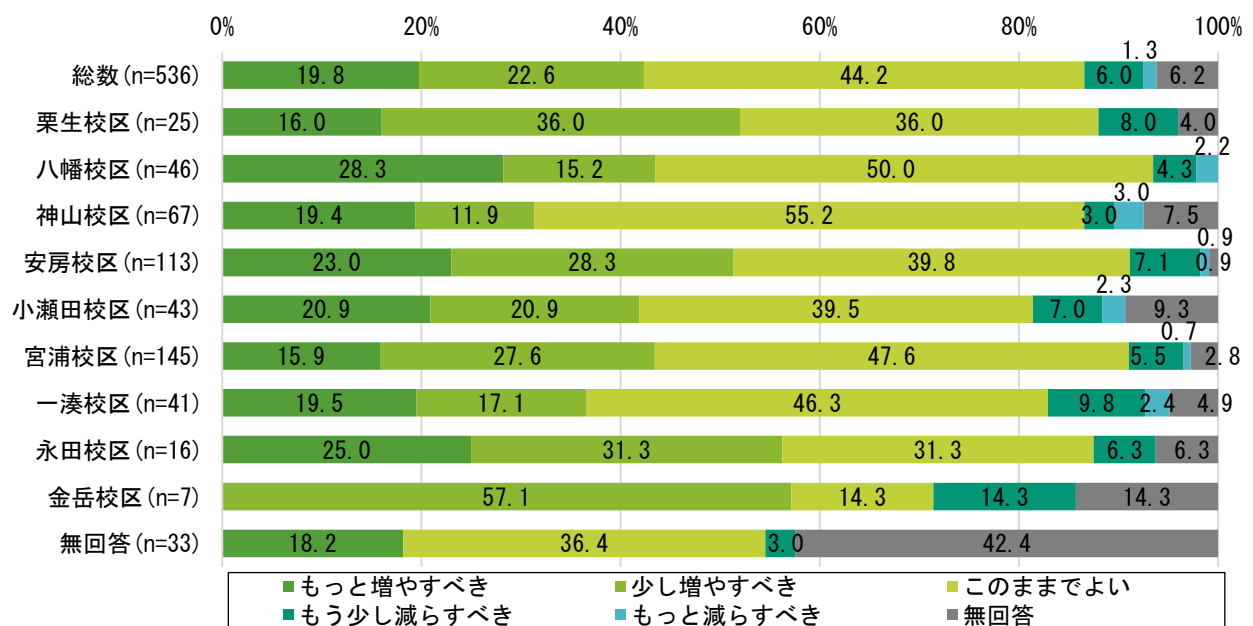
観光客数について

- ・「このままでよい」が44.2%と最も高く、次いで「少し増やすべき」が22.6%、「もっと増やすべき」が19.8%となっている。「減らすべき（もう少し減らすべき＋もっと減らすべき）」と回答した割合は7.3%となっている。
- ・年齢別に見ると、若い世代ほど「増やすべき（もっと増やすべき＋少し増やすべき）」の割合が高い。
- ・校区別に見ると、金岳校区、栗生校区、永田校区の順に「増やすべき（もっと増やすべき＋少し増やすべき）」と回答している割合が高い。一方で、金岳校区は減らすべき「減らすべき（もう少し減らすべき＋もっと減らすべき）」が14.3%と、他の校区と比較して最も高い。

《年齢別》

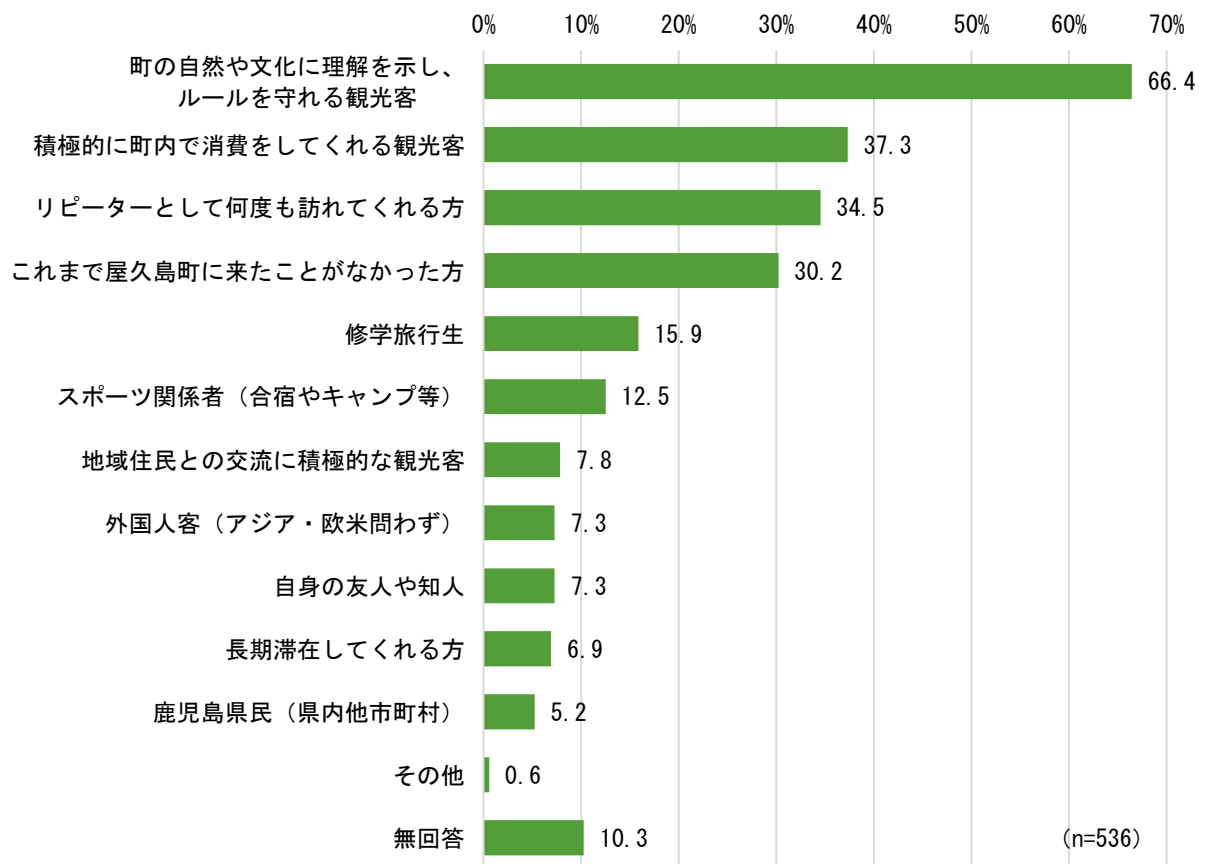


《校区別》



どのような観光客に訪れてほしいか

- ・「町の自然や文化に理解を示し、ルールを守れる観光客」が 66.4%と最も多く、次いで「積極的に町内で消費をしてくれる観光客」が 37.3%、「リピーターとして何度も訪れてくれる方」が 34.5%となっている。



《その他》

- ・自然を大切にできる人
- ・自然が好きな人
- ・ルールを守れる観光客
- ・海岸清掃などイベントみたいなことをしに来てくれる人
- ・親子づれ～子供がリピーターに成る
- ・教育、体験学習や社会人教育の場所としての団体での中期滞在

その他のご意見

《屋久島について》

情報発信・PRについて

【プラス意見】

- ・世界遺産 30 年以上の歴史と特産品の P R を続けてほしい。
- ・外部発信はある程度充実してきていると感じるため、内部環境、外部環境をより深く分析し（S W O T 分析など）、自然目的以外のリピーターを増やしてほしいと考えている。
- ・世界自然遺産もそうだが、それ以外にもすばらしい自然景観がある。それらの情報発信を強化していくべきだと思う。電力のほとんどをエコである水力発電で賄っていること、エコの島であることの P R を発電システムをまじえて行うことの強化。
- ・観光以外に何ができるか情報を提供するサイトがあるといいです。
- ・情報発信不足、屋久島の 10・20 のビジョンをどのように描くか、20～40 代を中心にして。
- ・観光客用の観光地の案内板に遊び心がない。マンホールのふたにまでその土地の個性を表しているセンスが日本の遊び心の 1 つだとすると、観光という娯楽そのものを楽しみにきている人たちにまじめくさい、文字だけの味気ない看板が多すぎる。屋久島の民話や動物、台風までもイメージ戦略にするような大胆な遊び心がほしいですネ。

【マイナス意見】

- ・ユネスコエコパークとして、自然資源を活用した持続可能な経済活動を推進しないと次の認定は下りなくなってしまうと危惧しています。口永良部島含めユネスコエコパークの認知度を島内外に広めるためのサイト運営や広報が必要だと感じます。
- ・自然遺産となって 30 年を迎えた年の P R の少なさ、薄さに驚いた。屋久島が発展しようがしまいが関係ないのかと思った。年配者ではないし、若い人達の意見を反映した島作りをしてほしい。
- ・観光の魅力発信が少ない
- ・町のインスタが全く更新されず、もったいないことをしているな、と思います。手を抜きすぎでは！今の子どもたちは、インスタや他 S N S から情報収集をすると思います。
- ・観光の中で縄文杉ばかりがクローズアップされ、それ以外の海、川、山の魅力や遊び方、楽しみ方が発信できていないと感じる。

観光客への案内

- ・山に行く方が多い中でどうやって情報収集すれば良いか分からない方が多い（現在山に入れるのか、交通手段はどうなるのか等）合わせて船や飛行機が欠航するリスクがある程度あると認識出来ない方が未だに多い。以上の点を考えてある程度の情報が一纏めにされた総合サイトがあれば分かりやすいかなと思う（恐らく多言語化は必須）。
- ・観光客に「オススメの場所は？飲食店は？」と聞かれることが多いので、もっと情報発信が必要なのではないかと感じる。観光客は登山の協力金 500 円を落とすだけで、他にお金を使う場所がないので、お金を落とす仕組み作りが大切である。
- ・島内団体（個人事業主含む）と町の連携を強め、観光客にとってわかりやすい観光地になってほしいと感じる。どこで何ができるかがわかりにくいように感じる。
- ・屋久島空港の到着ロビーではなく、出発ロビーに口永良部島 P R ポスターが張ってある。帰って行く観光客にアピールしても意味はない。
- ・観光案内所が港から遠くわかりにくいと聞いた。

観光客のマナー、ルールの徹底

【プラス意見】

- ・観光客の世界自然遺産の理解度が低下しているので熟知してほしい。たとえばレンタカーの交通ルール。
- ・仕事が観光関係で仕事の方、観光の方が今年は非常に多いと思っています。コロナもおとなしくなったからか、休みもとれないくらい多いと思います。
- ・観光客もたくさんふえて来たいみたいで良いと思います。
- ・観光客がゴミを捨てる場所に困っているのではないか
- ・観光客を増やしたら、それに伴う、いろんな事を（ごみの対処方法とか、食事のできる場所とか）ただ単に増やすのではなく、来た人がここちよく、満足できる体制を整えるべき

【マイナス意見】

- ・自然保護を最重視して、観光客増大化を止めるべきである。登山道の整備も増大化に比例して増加する悪循環をさけるべきだ。
- ・観光客の方に島のルールを徹底して欲しい。ゴミのポイ捨てをなくして欲しい。
- ・レジ袋に入れられたゴミがそのままゴミステーションに置かれているのは困る
- ・観光客などのレジ袋のままでゴミ出しをしたりするからゴミ改善をしてほしいです。
- ・観光客のマナーの悪さを直してほしい。特にゴミの捨て方、色々なルールを守るようお願いしたいです。
- ・ゴミをその辺に捨てるな！！ルールを守れ！！汚すなら来るな！！
- ・ゴミステーションのゴミ袋に入れていないゴミは明らかに島外の方。畑の法面や崖下のゴミ。ペーパードライバーであろう運転力。カーブでの停車。
- ・小杉谷の唯一のトイレに弁当がらが置き去りにされていたことがあった。ゴミ箱を置くのではなく、せめて里にまで持ち帰るような観光客への意識付けが大事なのではないかな。
- ・島内は車社会なので、島民も安心して運転できる様に、観光客が見やすい案内板の設置等を望みます。自転車での観光客も増えるので、常に危険は感じる。町のホームページや SNS にて、ゴミ捨てについてやルール等も、もっとはっきりと注意喚起して頂きたい。道路へのポイ捨てが最近目立ちます。

登山について

- ・交通対策の充実、登山はすべての山で日帰りコースが最善。
- ・島外からのガイド付きの団体の入山に必ず公認がガイドをつける
- ・登山者の制限が必要
- ・島内の観光資源として最大の縄文杉登山ルートが1ルートしかない。（数年前の大雨で道路が寸断し、長期間普通した）宮之浦側の17林班等の活用で複数のルートが必要。
- ・登山でのトイレ（他の観光地ではどのような対策）
- ・登山道整備
- ・登山客が気持ち良く利用出来るトイレの設置
- ・山岳協力金に見合うトイレを整備すること
- ・縄文杉への観光トロッコを運行するべきだ。
- ・ヤクスギランドや、白谷等で案内人をつけて説明つきでの簡単な観光の充実。
- ・屋久杉ランドの大きな木のある所を少し見るようにしてもらいたい

- ・ヤクスギランドの名称を変更して欲しい。

交通について

【移動手段の充実・利部政の向上】

- ・交通の利便性向上
- ・交通の便
- ・観光客と町民の交通の改善
- ・交通手段の確保、待ち時間や食事難民などこの夏休みに沢山目にしました。来られた方々がもっと満足でき楽しめる事が1番だと思う
- ・レンタカーではなく、バスでも島一周できるようにできるといい。雨が多い島なので、山、海、川に行けない場合の室内で楽しめる施設が必要である。何ヵ所に道の駅も必要である。
- ・観光客を増やすには、タイムスのシェアカーや、U B E R T A X I、全国共通の交通系 I C 導入、コンビニ、毎日営業している飲食店は必要だと思います。
- ・レンタカーやタクシーなどが非常に不足していて、屋久島への旅行を諦めるケースが多々あります。特にレンタカーの充実は大変重要です。
- ・千尋の滝は屋久島の中でもオススメの所なのにバスが出ていない。近くのバス停から1時間も歩くのでどうにかしてほしい。外国人客はレンタカーが難しいのでタクシーの利用がしやすくなると良い。タクシーが少なすぎる。外国人客が多いので船や飛行機の欠船は英語でも放送してほしい。
- ・バスの時間がもっとあればいいと思う
- ・路線バスの本数を1時間に2本に増やして欲しい。
- ・観光客に対しても、住人に対しても、交通の便が悪すぎる！！本数が少ない。高い。
- ・バスの増便と料金見直し、歩道整備（見通しの悪い道路、狭い道路特に志戸子、一湊、吉田）
- ・タクシーで店に買い物に行くが、観光客のせいか、タクシーがつかまらず困ることがある

【交通に関する案内の強化】

- ・屋久島のバスの時刻表が分かりにくい。また、交通案内等（インフォメーションセンター、ガイドマップ等の案内）が少なく、初めて来島される方は戸惑うと思う。
- ・交通の欠航等の放送があるが、外国人観光客が増えているので、アプリか何か、屋久島に関する交通機関の情報が、外国人でも確認できるようなシステムがあると良いのではないと思う
- ・外国人はレンタカーが乗れない人が多いが、バスが不便で交通手段が少ない。配車サービスとアプリの普及に力を入れて欲しい。

【航空路について】

- ・飛行機の最終便できた人はバスの最終に間に合わないこと
- ・路線バスがきちんと飛行機便に接続してないので、遅延の可能性のある飛行機便には空港発の路線バスを作っても良いと思う。そうすれば、島民にも迷惑がかからないし。
- ・ジェット機が早くとぶように
- ・屋久野空港整備、急げ、屋久島発展に必須

【運賃設定】

- ・高速船や飛行機の運賃がもっと安ければいい
- ・在郷者等への交通の旅費等が高額でUターンや帰省が出来ない。台風時の物資が止まるので他の方法等があれば？
- ・奄美群島までの交通費がそれぞれの島民割でやすくなるといい。それと、フェリーが屋久島にも寄

港して乗船、下船できるようにして下さい。

- ・町が補助を出し、屋久島-鹿児島間の交通費を安く！！（気軽に来られる島づくり）

【フェリー屋久島Ⅱ】

- ・地場産業が観光につながるような誘致他。フェリーⅡの欠航が気になっています。
- ・屋久島2を早急に改修して欲しい。
- ・フェリー屋久島2が毎日来るように、国か県や町が調整すべき（生活の要なので）
- ・フェリー屋久島2がボロ船すぎる。ラウンジのシートはブルーシートで覆われ、いたる所にバケツ。いいかげんに新船にかえるべき。
- ・トッピー代と屋久2代が変わらないくらい高いので困る
- ・屋久島空港の滑走路延伸事業（改善・要望）は、10年後ですので、直行便を増やしたり、老朽化したフェリーや高速船の更新をしたりしてください。機器故障や、エンジントラブルが多くなっています。観光に大きく影響します。観光客が増えた場合、対応できません。電気自動車の充電設備が少ない。町として、電気自動車を推進していると聞いている。県に任せっきり！

【その他】

- ・チケットを買った時にみせているのに、離島カードを提示しないと割引がきかないのはおかしい（住所がわかるものではダメなのか）
- ・バスを利用する観光客が多く見られますが、バス停があまりにも貧弱で申し分けなく思います。せめて雨、風をしのげて、陽よけになるようなバス停が必要なのでは…。
- ・世界遺産という強みを押し出そうとしているが、島の公共交通機関のバス会社や島内業者のトラックが黒煙を上げて走行しているのが目に付く。
- ・出発時間を守ってほしい。トッピーの時間をすぎて沢山の客を待たせて、トッピーをバックに写真をとっている人がいます。注意しましたが、やめません。島の人達の中には、病気の人もあります。時間を守って早く港に来てほしい。
- ・早期の空港のジェット運行で利便性の向上、山海と里のツアーを合わせた観光の強化、島民のおもてなしの意識の向上、観光客のマナー意識を意識する為の啓蒙活動

道路の整備

- ・安全に観光できる道路の整備に力を入れて欲しい。
- ・屋久島は道路沿いに花がない
- ・観光の町なので、きれいな花を整備したらいいと思う（町の管理で）
- ・県道沿いの草がすぐにぼこぼこになるのをどうにかした方がいい
- ・山の内側しか道路がきれいじゃない。観光の島らしさが少ない。ただ古い空港、港といった印象しかない。島全体をきれいにしたい。
- ・道端のごみや草が気になる
- ・県道は良いが、脇道の全体整備
- ・県道、歩道の整備、バス停等、草がぼうぼう生えている県道は、草や、木の枝がとび出してきて、車の運転がしづらい。常にきれいにしてほしい。街路樹はいらない。2m横は土手の草がすぐあるから、緑はある。子供達、通行人は草と木で見にくい。
- ・県道整備（道路の両脇の草、枝がはみ出している。）（道路の凹凸が多すぎる、雨が降ると水溜まりがすぐ出来る。）
- ・道路側の雑草がとても気になります。（農道も含む）

- ・サイクリング、マラソンなどを行うのは良いが、道路がせまく、とても危険。草刈りや、幅を広げる工事を行ってほしい。
- ・道路の整備が無い。消えた道路表示。街灯が少ない。
- ・道路の除草が少なく、ドライブするのに景観が悪い
- ・観光客の方がナビを見ながら運転しているので、少し怖いです。（仕方のない事ですが・・・）事故が起こらない事を願います。特に夜道は暗く街灯も少ないので。
- ・道路整備と通信環境を整えてほしい。
- ・本人が入院中の為代理です。細かい事はわかりませんが、残念な気持ちを書きます。私は関西在住です。屋久島が大好きなので知りあった人には屋久島の色々を進めています。今年は2ヵ月に1回の割合で帰省しました。①以前より道路にびっくりしました。草だらけで白線が見えなかったり車道や歩道に草がでていて見にくかったりして危険な気がします。山の中の道みたいに見えました。道路の草だらけと道路上の線に巻き付いてたれてかすらなど気になりませんか？②観光の外国人の人がバス停近くで歩道の段差に腰かけて足は車道側に出しているのを見かけました。草があるので近くまで気が付かず、びっくりする時が何度かありました。座って食べたゴミも置いて行くのも見かけました。屋久島はこういう事をやってもいい所なのだと思われてしまうのでは？③空港の駐車場がいつも一杯で送り迎えに困っていると聞きました。実際目にしています。長時間駐車している事が多いのではないのでしょうか？道路下の駐車場は1時間以上は有料にして長時間駐車する時は道路上の駐車場に置くようにするとかしらないのでしょうか？空港が新しくなるまで待たされるのでしょうか？④せっかくあるバスに飛行機との乗り継ぎがうまくいかず車を利用するしかないのでは車も増えるのでは？観光に来て頂く事は大切な事ですが、一番は島民に優しく、観光客にも優しい屋久島であってほしいです。島民の声が届く事を願っています。勝手な事を書いて申し訳ありません。

外国人対策

- ・インバウンドのお客さまが困るのが、言葉が一番です。トッピーやタクシー、レストランの予約さえままならず、一括して屋久島の観光を英語で伝えたり、外国人の予約を取ったりする有料でも良いので、サービスカウンター(電話も)が常時あるとありがたい。
- ・老人が住みやすい島にしてほしいです（車がない人の不便さ）外人さんが来た時、2・3ヵ国語で案内表示してほしい。大変でしょうが、車道の草払いを全体的にしてほしいです。
- ・まだまだ島に残って、若い人達に英会話も出来る、若者を増やして日本人でも外国の方でも積極性に前に出て行く人材を育ててほしいです。
- ・現在中されている外国語ができる方に英会話をならって、困っている方がいれば話しかけたい。教室を開いて欲しい。バスの排気ガスがひどいのがはずかしい。
- ・中国人観光客はいらないのでは！
- ・英語対応が少なすぎる

観光の取組アイデア

【新たな資源の活用】

- ・最近、こちらで釣り用小舟を購入した息子（大阪在住）の話によると、永田灯台を、海側からみる眺望も、なかなかのものであるらしい。永田灯台は、戦争の歴史も秘めた重要な文化財と考える。観光客に大いに、アピールして、屋久島の活性化に役立てたら良いのではないかと。また、口永良部島へ最短距離で行けるのも永田集落。「ちっ港」という古くから使われていた小港もあるので、観光

用の遊覧船などを設け、海側からそれぞれの集落（永田に近い集落）の美しい景観や原生林、口永良部島の美しいスポットなどアピールできれば、けっこうな観光名所になるのでは？ぜひ検討して頂きたい。

- ・ 自然遺産以外の農業、漁業の体験型観光の推進
- ・ 陶芸体験や、ダイビングやSUPなどのアクティビティを強みにしたら、より観光客が増えるのではないかと思います。
- ・ 山、川、海だけでなく、もっと他のあまり知られていない穴場的な観光できる所があれば紹介してほしい。
- ・ 海外経験豊富な人材が多いのに、「里めぐり」や観光地での集客は、古い。ザ・日本の業者がやっているところ。個人事業主として自由なライフスタイルを求めて移住している人が多いのに、集客をさせてもらえないので、島民同士の交流で終わっている。白谷の入り口など、公園などで、集客するのが当たり前になると活性化する。
- ・ 人工的なダイビングスポットを作ってはどうか？例えば廃船を沈めたりとか
- ・ 屋久島ブランド（特に特産品）の育成。鹿児島ブランドに取り込まれないこと。
- ・ すでに開発された山を中心とする観光資源に頼らず、新たな資源を開発すべき。足腰の弱い年配者でも満足できるもの。

【持続可能、再生型観光】

- ・ 再生型観光に光を当ててもらいたい。小さな集落にも何かがあると思います。
- ・ 山頼りの観光には限界があると思う。海に十日、里に十日、山に十日の精神を観光に活かして欲しい。海や川で環境保全に関われるツアーなどはこれから需要があると思う。
- ・ サステナブルな観光地、住民に愛される観光産業になって欲しい。
- ・ 縄文杉はいつまでもあるとは限らない。旅の目的を白谷や縄文杉から、サステナブルツーリズム的な旅ができる屋久島に意識やPRを変えていく必要があると思う。

【新しい施設の建設】

- ・ 屋久杉自然館の展示物が何年も同じなので、観光客は一度しか行こうと思わない。展示物や遊びコーナーに変化が必要。
- ・ 中間の小さな浜に階段を作ってください
- ・ 海水浴場のシャワー室は年中使えるならうれしいです。
- ・ 観光施設として水族館の建設
- ・ 世界に誇る図書館を作れる場所だと思います。
- ・ 花公園が欲しい島民も見に行けるように島外にあるような大きな花公園
- ・ 島民も観光客も気軽に行ける場がほしい
- ・ 島民も行きたくなるような施設があると良い。
- ・ 観光に関係するか分からないが、子供（高校生まで）達が遊ぶ施設が少ないと思う。最近子供と一緒に観光客もきてくれているが、どこで遊べると言った場所がないと思う。夏は川、海でも良いが、屋根（建物）がある遊び場が出来れば良いのと思う。

【観光スポットについて】

- ・ 観光地が少なく（山や海に行かない人は1日で終了する）
- ・ 冬の観光が余り少なく夏しか友人などにもおいでと言えない。
- ・ すべてがマンネリ化しているように思う。

【その他】

- ・スポーツチーム（プロ、アマ問わず）の合宿等の誘致に力を入れて、オフシーズン（冬～春まで）の島内に活気をもたらす政策を考えて欲しい。
- ・京都を代表とする、日本各地のオーバーツーリズムの状況を目をそらさずに吟味してほしい。一つの時代の経済のうるおいの為に、100年後、200年後の島民にめいわくをかけてはいけないと思う。
- ・インバウンドは諸刃の剣。頼らず観光立国にしたい

雨天時の対策

- ・各地域（島全体）にそれぞれ道の駅や雨の日でも木育をできる施設を充実してほしい。
- ・雨が多いのに室内施設があまり無い。大自然を生かした大きなアスレチックのある公園があると良い。
- ・雨の日でも観光の方々が過ごせる施設や屋久島ならではの体験を出来る場所がほしい
- ・雨の時に楽しめるようなマリントラソがあれば島民も楽しめると思う。又、楠川、湯の子温泉など露天風呂も加えて新しくしてほしい。
- ・観光施設の老朽化。雨の日でも楽しめる施設が少ない。
- ・観光客が雨の日に行ける所や体験できる場所があると良いかなと思う（つけあげ作り、かからん団子作り等）
- ・雨の月の過ごし方、観光について考え検討した方がいいのではないのでしょうか。

地域の受入れ体制

- ・観光地としての理想像(目的)を明確にして、町民が一つの方向に共通認識のもとに努力する必要があるのではと考えます。また、行政においては奉仕の気持ちを忘れずに町民、来島者に接し、何事にも誠意をもって取り組む姿勢が大切かと思えます。頑張ってください。
- ・屋久島の経済活動の要になる観光業、それを回していく観光協会の強化と人材育成が必要と思う
- ・観光客目線になった視点をもつ。あたり前をうたがう（ベンチや屋根のないバス停など）アンケート結果の考察。
- ・島内（だけでなく日本中）では、人手不足が深刻化しています。飛行機のジェット化も言われているようですが、今以上の観光客が屋久島に来た場合、きちんと対応できるのか不安です。多くの方々が屋久島に来たいと思っている今こそ、期待にこたえられるような対応が求められているのだと思います。
- ・これからこの島で育つ中学生や高校生に将来の屋久島像という事でアンケートしてほしいです。夢を持った子供たちが沢山いますよ、この島には！！
- ・島内で働く人の接客態度がかなり悪い、改善すべき。お店の営業時間がWebに記載されているものと違うことが多すぎる
- ・小さな事ですが、お店の従業員のお客様への言葉使い、接客の悪さ、屋久島全体悪いと思います。
- ・「町民によるおもてなし」という内容が度々あったが、よくイメージがわからなかった。自身の国内外の旅行のことを思い返した時、地元の方のおもてなしを期待したことはなく、住民の方の生活をのぞかせてもらうような、参加させてもらうような気持ちだった。
- ・労働人口の少ない環境で、観光客の拡大政策を行う事は結果的に、低品質なサービスをうみます。屋久島の観光窓口である観光協会さえ、人手不足で宮之浦の窓口を休止している現状に向き合う必要があると思います。拡大政策を一旦休み、労働人口の増加や移住促進を図る。同時にDX化を促進し、生産効率を上げるべきです。

- ・観光のみならず、定住者のための受け入れなど、人手不足解消、現存住宅の活用を広げることと、新たに受け入れるための住宅を増やしてほしい。
- ・ガイド業務に対して良いイメージがない。理由は、マイカー使用の MAX1 回の案内で 10 万円近くの異常な収入である事。又、車（白ナンバー）での送迎はサービスと言いつつも実際は「足代込み」だから需要があるのだと思う。将来、空港が延伸したらまだまだガイドは増えるでしょう。これが本来のエコツーリズムなのでしょうか？駐車スペースもますます不足する事でしょう。まずは、「白ナンバー」送迎に歯止めをかけてほしいです。

施設整備について

- ・自然に意識し過ぎてコンビニやファミレス等がない。
- ・食事をするところ。トイレ施設などもう少しあるといいなあ。お金を落とせる施設もあるといいなあ。町がうるおうような。
- ・良いと思うところは、トイレ等ドライブ休憩ポイントが多いところ。悪いところは、そこから見える島などのアピールポイントがないところ。
- ・開いているのかどうかわかりにくい店舗の暗さが良くないと思います。歩道舗装や老朽化した建物などへの対応は大切だと思います。自然は大切にしながら、居住地域や街並（駐車場への入りやすさも大切です）は美しくあった方が、人が集りやすいと思います。
- ・建物の老朽化
- ・稼げる地域を形成する為に施設等に補助金の拡充が必要。
- ・屋久島の民宿等の料金が安い。外の所とくらべて高すぎるとの声を聞きました。他はあまりよくわかりません。
- ・宿泊施設の充実
- ・知人、友人を招待したい時、宿泊先に困ります。町内の HOTEL は高額で、手頃な民宿も満室が多い。あと旅行社が少ない気がする（対応は文句なしですが・・・）

観光税について

- ・屋久島の豊かな自然は、世界的にみてもまれな、すばらしい宝です。バリ島のように、外国人観光税をもらうなど（ブータンも）しても観光客は減少することはない、むしろ価値は上がると思います。徳島県上勝町のゼロ・ウェイストのような取り組みを島中で皆が行うと、オーガニックアイランドとしての価値がさらに上がり、観光客も増えるのでは？町の町長の汚職や入山協力金の横領などをしている場合ではなく、世界的な観点で屋久島の未来を考えていける若者がこの島の体制を変える必要があると思います。
- ・20 年以上前に初めて屋久島を訪れた際、全国の観光地では、入場料（入山料）や駐車場代を取られるのに、志戸子のガジュマル園しか入場料が取られなかったことにびっくりしました。施設だけでなく、自然の観光地も入場料を取ってよいと思います。屋久島空港ターミナルは、全国の空港ターミナルに比べてかなり改築が遅れていると思います。
- ・町が主導で景観の美化（町おこし）に予算を投じて「自然と芸術の島」と言われるようになったら良い！（例：熊本県の黒川温泉等）
- ・入島税や地域社会資本を測定するための通貨「しまのコイン」の様な専用通貨の発想
現状、屋久島に限らず、いろいろな地域が東京からの相対的な距離という価値観で計られがちです。こんな風に、地域ならではの特性を活かして、経済を活性化し、人を幸せにしていける様な地域資本主義の発想が必要かと思っています。地域資本主義を推進するためには、資本主義の根底となるフォー

マットがあれば、株式会社や民間企業などが取り組みやすいフォーマットに変換する必要がありますが、例えば観光客に限らず島でのSDGsの取り組みに対して専用通貨を発行など島自体が資源を有効活用に取り組む仕組み作りが出来ればSDGsのモデルケースとしても魅力が秘めていると思います。

- ・もっと森を守ってほしい人が森に入りすぎている。これ以上はふやさないでほしい。観光税を導入すべき。
- ・空港、港、案内図や地図、看板を老朽化しているものを放置しているのは残念。入島料を支払ってもらい、それを元にして再度作りなおすだけでもいいのでは。旅行税の導入は、されているのでしょうか？海外でもミラノ、ヴェネチアローマ等、街のホテルに宿泊税観光税、大阪でも宿泊税徴収が始まっています。

自然環境の保全について

- ・開発されずに残された太古からの自然を守っていただきたいので、これからも開発はあまりしないで欲しいです。コンビニやチェーン店は参入させないでいただきたいです。
- ・観光客が来訪しても「観光ができなかった」と思わないように自然景観の向上にしてもらいたい（※西部林道）世界自然遺産だから。
- ・世界自然遺産登録の島として誇れる様、自然環境の保持と観光客とのバランスの策を。他地域の手本になれる様。
- ・屋久島は素晴らしい神の島、水の島なので、それを分かっている方々に来ていただきたいです。イベントは少なくてもいいと思います。県道脇の雑草が気になります。鹿やサルを大切にしてほしいです。
- ・自然の景観を損なわないよう、保全に留意しながら、維持できるように。
- ・自然資源の活用だけでなく、保全も観光客と一緒に考えたり、行動できたりすると良いと思う。
- ・自然環境の保全と観光での利活用を両立した、持続可能な観光地になってほしい。受入体制の強化について、新たな取り組み（限られた人員の中でサービスを維持していく）が必要。インバウンド対策を進めていく必要がある。
- ・今や屋久島と云えば知らない人は居ない。自然という宝を持った島だと思う。それにあこがれて観光、移住する人も増えるでしょう。それらの人々をあたたかく迎える施設、行政をしてもらいたい。
- ・屋久島に居住するようになってまだ日は浅いが、大自然には魅力を感じているし、それなりに楽しませてもらっている。こちらに来て、欧米系の観光客が多くを占めていることには驚いた（本土はアジア系ばかり）。さすがは世界遺産と感心した。アジア方面へのアピールも強化すると良いのではとも思う（本土のアジア系観光客の多さにはうんざりしているので、そこまでなってもらおうと困るが）。観光客からすると交通利便性には不満を感じることもあるであろうと想像するが、自然環境維持、収益性等考えると難しいところでしょうね。観光客としてあるいは出張で訪れた際に感じたことがあるのは宿泊施設の老朽化とサービスに対する少しの不満です。高額なホテルにはそうそう宿泊できるものではないので、民宿を探すことになるのですが、宿泊したいと思わせてくれる（新しい建物がいいとかいう意味ではありません）ところは少ないと感じた（ちょっとわがまま？）。
- ・自然で良い
- ・世界中で屋久島ほど水や電力が豊かで山や川が美しいところはまれだと思う。開発を優先するといちばん大切な「美しい自然と人々の暮らし」が失われてしまう。「いなからしさ」をもとめて観光客はきているので、便利にする必要はないと思う。ハイアットホテルができて、ステキな島になるより、「いなからしさ」を好む旅人も大勢いる。不便は観光のウリにもなる。開発しすぎるとみんなお

なじりリゾート島になってしまう。屋久島の個性を住んでいる人は認識していないように見える。お金がたくさん入ってきて生活が豊かになるのはよいが貧富の差も大きくなる。ほんとうに豊かとは島民が主であるべき。福祉、教育に重点をおいてほしい。

- ・屋久島の自然を壊さない。
- ・海岸漂着ゴミは景観を損なうばかりでなく、地球環境にも悪いから、見た人は誰でも「何とかならないか」と思うはず。その気持ちを大切に、3つずつ拾って集める場所が用意してあれば「屋久島は良いところだな」と心から感じるものだと思う。そのための「拾い箱」の設置を是非、実現してほしい。
- ・島の観光の根源は自然です。自然の破壊は復活不能です。自然を大切にする全島民の姿が大きな大きな観光資源になると思います。

その他

- ・直接観光に関わる事は、今の所ないのですが、高齢化で荒地となっている田畑を、観光に生かせる工夫が出来たらいいのかなと思います。
- ・観光で訪れた事をきっかけに、移住や定住をしてみたいと思える体験ができれば良いなあと思います。
- ・観光より産業に力を注ぐ方が良い
- ・島の未来（国の未来）的にも一時の観光ブームに乗った収入源より、食料の自給自足をめざし、第一次産業に携わる人を増やすべきと思う。
- ・転勤で、4月に引越してきたばかりで、あまり質問に答えられず、すいません。住んでみて、5ヵ月、屋久島を満喫しています。まだまだ、屋久島について知らないことばかりで、これから、色々と、屋久島について知りたいと思っています。
- ・今のままでいいと思います
- ・平成 28 年作成の観光基本計画書について、出来た年と出来なかった年の自らの検証なしに、次の計画はない！！何が出来て何が出来なかったのか？達成すべき数値目標が無い。かかわった（沢山の名簿者）一人一人の検証レポートが読んでみたいものだ。ただ、計画しただけではないのか？経費のムダではないか？
- ・島の多い日本列島に在って、最近、新聞の全国紙に出ていた調査で断突に行ってみたい島の一位が屋久島でした。私の友人達も旅好きな人は先ず、屋久島と言います。遠方の関係の人も福岡の人もです。年輩者は飛行機なしで行くことはどんな方法になるか？新幹線ではどうだろうか？など、いろいろアイデアが出そうですが費用はどうでしょう。日程はどうでしょう。あきらめる人は何がネックなのでしょう。
- ・潜在的に美味しいものがあるので整理して簡単に食べられるようにしたらいいと思う
- ・観光者が減ったと思う。なぜだろう？

《口永良部島について》

情報発信・PRについて
・存在を知らない人が多すぎる。 ・口永良部島がどんな島か、何があるかを知らない人が多い。観光客に屋久島と口永良部島に足を運んでもらえるよう町報や文化村センターの新聞で魅力発信が必要である。 ・行き来で、やはり、船便しかありませんので、もう少し、行ってみて良かったと言える何か、外に発信していける目玉的なものがあれば良いかな？ ・国立公園であること、豊かな温泉、自然があることのPRをもっともっとするべき。 ・何が目玉に行けば良いか、まだわからない。 ・火山島ならではの魅力をもっと発信してほしいです。 ・島内に住んでいて口永良部島に行くことはない。何があるのか島民も知らない人が多いのでは？ ・行った事が無いので分かりません。 ・住んだ事がないので分かりません ・観光についての情報があまりにも少なく、近いのに行ってみたいとあまり思えない。 ・屋久島と比較して、情報発信の機会が少ないと感じる ・観光の魅力発信が少ない ・もっといろいろなものがないこと、不便なことを発信して、覚悟して準備して来てもらう取り組みをした方がいいと思う。 ・致し方無いことではあるが、交通手段がフェリー太陽2しかないことで、観光促進はなかなか難しいだろうとは感じている。個人的には大好きな島で時々訪れている。島外から来ているのでよくわかるが、屋久島とは違い、口永良部島という島自体が世間にはよく知られていない（鹿児島の人でも知らない人はいる・・・）。受け入れ態勢が整っているとは言い難いようにも思うが、自然や温泉など素晴らしいものがあるので、まずは国内へのアピールの仕方について考慮いただければ。最近では島の一部の若手がSNS等で情報発信をされているようだが、そのあたりを自治体と一体となって推し進めていければと感じる。島の人ほどの程度観光化を望んでいるんでしょうね？ ・火山のイメージしかない。サイクリングロードや民泊の案内等、インスタグラム等利用されたらどうでしょうか。 ・口永良部ブランドの立ち上げ（独自のものとして） ・口永良部にしかないオンリーワンを開拓（発）？して、まずは認知度をあげる ・桜島のように噴火を観光の目玉にするような施策はどうでしょうか。 ・観光ではなく長期滞在者向けのPRが必要ではないか
屋久島との連携強化
・屋久島との交流を増やす ・屋久島に訪れる観光客に足を延ばしてくれる様進める。 ・自分で調べて行くのは面倒！屋久島からツアーで行けるとありがたい。（行きたいけど！） ・屋久島からの口永良部への観光をしやすくしてほしい。屋久島在住者で行きたい人は沢山います。 ・屋久島にいて、口永良部島のことをよく知らない。
交通について
・屋久島との交通の便がもっと発達して欲しい ・鹿児島との直行便を航行してはどうか？（三島村との周回路など）

- ・屋久島との連絡路が少ないと思う。口永良部島には一度しか訪れていませんが時間の流れが違うような魅力的な場であることをもっと伝えて欲しいです。
- ・口永良部島は、こじんまりしているので、セスナ飛行機やヘリコプターの遊覧飛行が有ってもいいと思います。観光活性に役立つと思います。
- ・口永良部には、もう何十年も行っておらず、島の状況もあまりわかりませんが、フェリーの欠航が多くあるので、観光にも影響するのかなと思います。
- ・残念ながら、欠航の多い口永良部島には観光客は案内むずかしい
- ・来島手段が町営船のみというのが難しい。
- ・交通手段が少ない
- ・アクセスが悪いの一点につきる。次にあげるとしたら宿泊場所の少なさ。非常に魅力がある島だからこそ残念。
- ・交通手段が弱すぎ島内の移動などのイメージがもてない
- ・フェリー欠航が多く積極的に旅行の日程に組み込みにくい。
- ・海が少し荒れると交通がストップになる。
- ・太陽丸の運航状態が悪い。
- ・はずかしくないのかな。町長以下、職員全員が一度乗るべき。
- ・フェリーが、欠航が多いので、気軽に行きにくい！屋久島町の島民ですら、行けてないので、学校の授業等でも、とりいれてみては！！
- ・フェリーが欠航し易いので、旅行計画が立てにくい
- ・まだ一度も訪れたことがないのですが、交通面にやや不安があり、（海上しけでの運休等が多いと感じるため）訪れても本当に楽しむことができるのか・・・？と疑問に思っています。
- ・船の便を心配して、いつも生活をしている様です。お客様が口永良部に行きたいのに船が時化したら日程がくるってしまうとの事です。（店の品物などなくなるそうです。）

宿泊インフラ

- ・道路や交通の整備、宿泊施設の増加、船の整備！
- ・もっときれいな宿とかがあれば良いのに
- ・宿泊する民宿が少ない
- ・インバウンド対策ができていない。時刻表、バス停留所等の案内。
- ・実業団、大学等のスポーツ合宿ができるような施設。（旧小杉第地区の活用）
- ・小学生等の夏休み合宿等ができるような施設。（旧小杉第地区の活用）
- ・宿が工事関係者でいっぱいになっているなど、まずなかなか行けない。
- ・民宿、店、郵便局
- ・インフラ整備が必要
- ・宿泊施設交通インフラの充実・
- ・行ったことがないのでよくわかりませんが、観光客をうけいれる体制ができていない印象があります。[観光まちづくり課の皆様、おつかれさまです。いつもありがとうございます。無理をせず、楽しく仕事して下さいネ]
- ・まずは安定した生活の出来る住宅環境の整備
- ・店が1つしかなく、食堂も無い状態で温泉だけが観光では、壊滅的でしょう。受け入れが整っていない。

- ・施設が少ない。早く閉まる店しかない。
- ・土日休みの店がおおいです。
- ・道路も修善されておらず、観光以前の問題がある。公衆トイレも無く、観光客が訪れても（特に女性）は困っている。
- ・土日休みの店がおおいです。
- ・温泉設備、町営船の充実
- ・屋久島の人も行った事のない島の温泉がすごくいいとされる島の強みをもっと後押しすべきだと思うし温泉施設の改修や新設などして欲しい
- ・口永良部島の大きな観光資源である温泉がどこも状態が悪いのでちゃんと整備していく必要があると感じます。

観光の取組アイデア

- ・個性的な観光（少数のグループで手作り、自由度のある旅）
- ・①島の観光マップが少ない ②航路の安定 ③島内の宿泊施設・交通手段・売店
- ・スポーツチーム（プロ、アマ問わず）の合宿等の誘致に力を入れて、オフシーズン（冬～春まで）の島内に活気をもたらす政策を考えて欲しい。
- ・安房にあるトロッコ列車を観光客が乗って山の上まで登れるようにして欲しい。山の上に宿泊施設や買い物ができる施設をつくって欲しい。（食事などできる所も）
- ・自給自足体験など不便さを利用した？観光
- ・温泉を観光のメインとして、活用できたら良いと思うがフェリーでの日帰りは無理なので、観光船があったら良いと思う。
- ・温泉施設を充実させての温泉めぐり
- ・温泉をもっと活かしたい
- ・温泉の活用
- ・魚、貝類、竹の子等を大切にしたらいい（釣り、料理）
- ・上記と同じく、特に雄大な放牧地を利用したグラスフィット牛肉や乳製品の産業の起業と共に観光の目玉にもなる事と思われる。
- ・せっかく新しくなったので、フェリー太陽Ⅱを活用して、屋久島からの観光客を増やしてほしい。
- ・まだ行ったことが無いが、興味は非常にある。島民割引をやってもらえるとありがたい。行政負担は増えるがPRにはなる。すでにあったらゴメンナサイ。
- ・見どころ、交通情報をまとめてあるパンフレットがほしい。

活火山の安全対策について

- ・口永良部島で 2014 年御嶽山噴火の時のように観光客の方がなくなったり、ケガをすることがあったりしてはならないと思う。屋久島町役場が対応できない大規模な災害が起こりうるのに避難所や噴石から身を守る避難所ドームもない状態で観光はありえないと思う。
- ・噴火後、シェルターも出来て安心して訪れる事が出来ていますか？

その他

- ・今回のアンケートで、口永良部島の人に関わる機会が増えるといいなと思った。
- ・働く場所と住む場所が確保されれば、来たい人は沢山いると思える島です。
- ・今のままで
- ・海岸の漂流ゴミがすごすぎる

- ・ 前回、2016 年の「観光基本計画」の内容を町民がどこまで理解、承知していると思いますか。行政職員も計画の詳細は承知していないと思います。先述の通り覚書を作ることに意義を見つけている。効果には感心がない。アリバイ作りの感あり。
- ・ 計画について、結果どうなっているかの自己分析を示して、それに対して住民評価をもらうべきでは？（問 2 について）
- ・ 自然を大切にする
- ・ 一人間の人生はちょっとの間、そのままの自然をひきつぐことこそ最も大事。こわさなかった昔の島民に感謝。
- ・ まだ行ったことがないので、屋久島にいる間に行きたいと思っています。いつも永田へ行く道から見る、口永良部島がとてもきれいだと、寄り道をして、夕日の写真を撮ったりしています。
- ・ 行ったことがないのでわかりません。行った人の話をして、釣りや温泉が良かったと聞いている。